2023（令和5）年度

共通教育履修案内

愛媛大学共通教育センター

は　じ　め　に

―　愛媛大学へご入学された皆さんへ歓迎のメッセージにかえて　―

大学生活は、大きな学びの扉を開く、人生の新たなスタートラインです。

今日、世界は激動の時代を迎えています。気候変動、ＩＣＴの進歩、インクルージョンの実現、グローバル化など、私たちを取り巻く世界は日々刻々と変化しており、その歩みはとどまることを知りません。

では、この変わり続ける世界で生きていく皆さんにとって、必要な教養とは一体どんなものでしょうか？

愛媛大学には、自ら学び、考え、実践する能力をもつ人間性豊かな人材を育成するという教育目的があります。

学生の皆さんが自立した個人として生きていくために必要な知の基盤を培って頂きたいという願いから、大学教育の入口として教育課程の中に共通教育が設けられ、共通教育センターは、その共通教育の実施拠点として設立されました。そして、当センターでは、全学の教員参加のもと、皆さんの成長に寄与する教育カリキュラムの実現を目指し、日々授業を実施しています。

共通教育では、主に専門教育の礎となる初年次科目と基礎科目、未来思考支援科目、教養科目のカリキュラムを通じて、まず皆さんに大学生としての基盤づくりをしてもらいます。教養科目のなかでも、主題探究型科目では、自ら学び、考え、実践する能動的学習者となるための基礎的な体験を積み、学問分野別科目ではさまざまな分野の知に触れ、豊かな人間性を培って頂きます。

この「共通教育履修案内」は、愛媛大学に入学された皆さんに、共通教育で「何をどのように学ぶか」を理解し、本学を卒業されるために必要となる共通教育の履修要件等を確認して頂くための指針として作成されたガイドブックです。各学部の履修の手引きと併せて卒業まで大切に保管し、ぜひ何度も見返してください。

皆さんがこれから充実した大学生活をスタートさせ、卒業時には悔いなく本学卒業生としての自信と誇りをもって巣立たれていくことを、心から願っています。

愛媛大学　教育・学生支援機構　共通教育センター

目　次

Ⅰ．主要なスケジュール
1．令和５年度　学年暦…… 4
2．令和５年度　前学期の共通教育関係主要日程…… 4
3．令和５年度　共通教育関係授業日程…… 5

Ⅱ．愛媛大学における学び
1．愛媛大学憲章（抜粋）…… 6
2．愛媛大学学生として期待される能力〔愛大学生コンピテンシー〕…… 6
3．共通教育の理念と教育方針…… 7

Ⅲ．愛媛大学における学びのしくみ
1．大学の授業を学ぶための基本知識…… 8
2．授業時間…… 8
3．単位制度…… 8
（1）単位の計算方法
（2）大学での授業時間数及び授業時間外学習と単位数との関係の目安
4．履修登録単位数の上限設定（ＣＡＰ制）…… 9
5．成績の評価…… 9
6．全学共通GPAについて …… 10
（1）全学共通GPA導入の目的
（2）全学共通GPA（成績平均値）の計算式
（3）履修登録科目の取消について
（4）GPAの確認方法
7．科目ナンバリング…… 11
8．卒業の要件…… 11

Ⅳ．共通教育の学び
1．初年次科目…… 12
2．基礎科目…… 13
3．未来思考支援科目…… 13
4．教養科目…… 14
5．発展科目…… 14
6．留学生対象科目…… 14

Ⅴ．共通教育授業科目表
1．初年次科目…… 15
2．基礎科目…… 15
3．未来思考支援科目…… 16
4．教養科目…… 16
5．発展科目…… 19
6．留学生対象科目…… 19

Ⅵ．学部ごとの履修単位表及び教育課程表
法文学部…… 21
教育学部…… 24
社会共創学部…… 26
理学部…… 28
医学部…… 30
工学部…… 33
農学部…… 35

Ⅶ．履修登録手続等
1．履修登録の方法…… 37
2．履修登録の時期…… 37
3．履修登録の手順…… 37
4．時間割表の見方…… 38
（1）共通教育科目授業時間割表の見方
（2）法文学部授業時間割表の見方（法文学部夜間主コースのみ該当）
5．シラバスの見方…… 40
6．履修のルール…… 41
（1）履修上の注意事項
（2）初年次科目

（3）基礎科目
（4）教養科目
（5）発展科目
（6）留学生対象科目
（7）教育職員免許状を取得する場合に必要な科目
（8）海外で実施する科目

Ⅷ．受講上の注意事項
1．授業に関する連絡…… 52
（1）修学支援システム
（2）共通教育掲示板
（3）電子掲示板
（4）共通教育センターホームページ
（5）英語教育センターホームページ
2．授業の実施場所等…… 53
（1）教室
（2）教室変更
3．休講・補講…… 54
（1）通常の休講・補講
（2）気象等に関する特別警報又は台風に伴う暴風警報が発表された場合の授業の取扱いについて
4．授業の欠席…… 54
5．試験及び成績…… 54
（1）試験
（2）試験等における受験上の注意
（3）不正行為
（4）レポートの提出
（5）追試験
（6）成績の通知
（7）成績確認申立
6．授業改善のためのアンケート…… 56

Ⅸ．学びのサポート
1．教科書…… 57
（1）購入方法
（2）活用方法
2．ノートパソコンの活用…… 57
3．大学内での自主的な学習…… 57
（1）図書館を利用する
（2）総合情報メディアセンターを利用する
（3）愛大ミューズ内のパソコン室を利用する
（4）共通講義棟Ａ又は愛大ミューズ内のラウンジを利用する
4．学習支援…… 58
（1）オフィスアワーを活用する
（2）ティーチング・アシスタント（TA）を活用する
（3）スチューデント・アシスタント（SA）を活用する
（4）スタディ・ヘルプ・デスク（SHD）を利用する
5．自主的な英語学習…… 59
6．履修に関する質問…… 59
（1）共通教育チームを利用する
（2）法文学部夜間主コース専用窓口を利用する
（3）英語教育センター事務室を利用する
（4）ピア・ルームを利用する

【巻末資料】
1．窓口案内・掲示板案内…… 60
2．学内案内図…… 61
3．教室等配置図…… 62
4．規則一覧…… 66

Ⅰ．主要なスケジュール

令和５年度の大学の行事と共通教育関係の前学期の重要なスケジュールを示しています。
よく確認してください。

1　令和５年度　学年暦

事　　項	日　　程
学年始め・前学期開始	令和５年４月１日(土)
入学式	令和５年４月６日(木)
夏季休業	令和５年８月７日(月) ～９月30日(土)
前学期終了	令和５年９月23日(土)
後学期開始	令和５年９月24日(日)
開学記念日	令和５年11月11日(土)
冬季休業	令和５年12月24日(日) ～令和６年１月７日(日)
学位記授与式	令和６年３月25日(月)
学年終わり・後学期終了	令和６年３月31日(日)

2　令和５年度　前学期の共通教育関係主要日程

日　　程		事　　項
４月	１日(土)	前学期開始
	３日(月)	履修指導・学修スタートガイダンス (学部・学科別で履修指導の時間・場所が異なります。)
	６日(木)	教養科目抽選【履修登録不可】
	７日(金) ～ 16日(日)	抽選結果確認、履修登録の確認・修正【修学支援システム】
	10日(月)	前学期授業開始（第１クォーター授業開始）
５月下旬～６月上旬		期末試験（授業時間内で適宜実施） 授業改善のための学生アンケート【修学支援システム】
６月	12日(月)	第２クォーター授業開始
７月下旬～８月上旬		期末試験（授業時間内で適宜実施） 授業改善のための学生アンケート【修学支援システム】
8月	７日(月)	夏季休業開始
9月	24日(日)	後学期開始
	28日(木)	後学期授業開始（第３クォーター授業開始）
	30日(土)	夏季休業終了

【備考】
1．後学期の授業開始は、10月１日を原則としますが、授業日数を確保するため曜日によっては９月最終週から授業を開始します。
2．夏季休業及び冬季休業の期間中に集中講義、補講等の授業を行うことがあります。
3．令和６年度以降の学年暦及び令和５年度後学期の主要日程については、掲示板等で確認してください。

3　令和５年度　共通教育関係授業日程

	日		月		火		水		木		金		土	
4月													1	前学期開始
	2		3	履修指導 学修スタートガイダンス	4		5		6	入学式 教養科目抽選	7	履修登録修正開始	8	
	9		10	①	11	①	12	①	13	①	14	①	15	①
	16	履修登録修正終了	17	②	18	②	19	②	20	②	21	②	22	②
	23		24	③	25	③	26	③	27	③	28	③	29	昭和の日
	30		1	④	2	④	3	憲法記念日	4	みどりの日	5	こどもの日	6	③
5月	7		8	⑤	9	⑤	10	④	11	④	12	④	13	④
	14		15	⑥	16	⑥	17	⑤	18	⑤	19	⑤	20	⑤
	21		22	⑦	23	⑦	24	⑥	25	⑥	26	⑥	27	⑥
	28		29	⑧	30	⑧	31	⑦	1	⑦	2	⑦	3	⑦
6月	4		5	補講日	6	補講日	7	⑧	8	⑧	9	⑧	10	⑧ 履修登録修正開始
	11		12	①	13	①	14	①	15	①	16	①	17	① 履修登録修正終了
	18		19	②	20	②	21	②	22	②	23	②	24	②
	25		26	③	27	③	28	③	29	③	30	③	1	③
7月	2		3	④	4	④	5	④	6	④	7	④	8	④
	9		10	⑤	11	⑤	12	⑤	13	⑤	14	⑤	15	⑤
	16		17	海の日	18	⑥	19	⑥	20	⑥	21	⑥	22	⑥
	23		24	⑥	25	⑦	26	⑦	27	⑦	28	⑦	29	⑦
	30		31	⑦	1	⑧	2	⑧	3	⑧	4	⑧	5	⑧
8月	6		7	⑧ 夏季休業開始	8	補講日	9		10		11	山の日	12	
	13		14		15		16		17		18		19	
	20		21		22		23		24		25		26	
	27		28		29		30		31		1		2	
9月	3		4		5		6		7		8		9	
	10		11		12		13		14		15		16	
	17		18	敬老の日	19	履修登録開始	20		21		22		23	秋分の日 前学期終了
	24	後学期開始	25	教養科目抽選	26	履修登録修正開始	27		28	①	29	①	30	① 夏季休業終了
10月	1		2	①	3	①	4	①	5	② 履修登録修正終了	6	②	7	②
	8		9	スポーツの日	10	**月曜　②**	11	②	12	③	13	③	14	③
	15		16	③	17	②	18	③	19	④	20	④	21	④
	22		23	④	24	③	25	④	26	⑤	27	⑤	28	⑤
	29		30	⑤	31	④	1	⑤	2	⑥	3	文化の日	4	⑥
11月	5		6	⑥	7	⑤	8	⑥	9	⑦	10	学生祭	11	開学記念日 学生祭
	12	学生祭	13	学生祭	14	⑥	15	⑦	16	⑧	17	⑥	18	⑦
	19		20	⑦	21	⑦	22	⑧	23	勤労感謝の日	24	⑦	25	特別入試
	26	特別入試	27	⑧	28	⑧	29	補講日	30	補講日	1	⑧	2	⑧ 履修登録修正開始
12月	3		4	①	5	①	6	①	7	①	8	①	9	① 履修登録修正終了
	10		11	②	12	②	13	②	14	②	15	②	16	②
	17		18	③	19	③	20	③	21	③	22	③	23	③
	24	冬季休業開始	25		26		27		28		29		30	
	31		1	元日	2		3		4		5		6	
1月	7	冬季休業終了	8	成人の日	9	**月曜　④**	10	④	11	④	12	試験準備	13	共通テスト
	14	共通テスト	15	⑤	16	④	17	⑤	18	⑤	19	④	20	④
	21		22	⑥	23	⑤	24	⑥	25	⑥	26	⑤	27	⑤
	28		29	⑦	30	⑥	31	⑦	1	⑦	2	⑥	3	⑥
2月	4		5	⑧	6	⑦	7	⑧	8	⑧	9	⑦	10	⑦
	11	建国記念の日	12	振替休日	13	⑧	14	補講日	15	補講日	16	⑧	17	⑧
	18		19		20		21		22		23	天皇誕生日	24	
	25		26		27		28		29		1		2	
3月	3		4		5		6		7		8		9	
	10		11		12		13		14		15		16	
	17		18		19		20	春分の日	21		22		23	
	24		25	学位記授与式	26		27		28		29		30	
	31	後学期終了												

注１．セメスター制授業の場合、第１・第２クォーター、第３・第４クォーターで①～⑯とする。
　２．夏季休業期間中(８／７～９／30)の８月７日(月)、８月８日(火)、９月28日(木)、９月29日(金)、９月30日(土)は、授業を実施する。
　３．10月10日(火)の授業は、月曜日２回目の授業とする。
　４．１月９日(火)の授業は、月曜日４回目の授業とする。

Ⅱ．愛媛大学における学び

1　愛媛大学憲章（抜粋）

愛媛大学は、自ら学び、考え、実践する能力と次代を担う誇りをもつ人間性豊かな人材を社会に輩出することを最大の使命とする。とりわけ、国際化の加速する時代において地域に立脚する大学として、地域の発展を牽引する人材、グローバルな視野で社会に貢献する人材の養成が主要な責務であると自覚する。愛媛大学は、相互に尊重し啓発しあう人間関係を基調として、「学生中心の大学」「地域とともに輝く大学」「世界とつながる大学」を創造することを基本理念とする。

《基本目標》

【教育】

（1）愛媛大学は、正課教育、準正課教育、正課外活動を通して、知識や技能を適切に運用する能力、論理的に思考し判断する能力、多様な人とコミュニケーションする能力、自立した個人として生きていく能力、組織や社会の一員として生きていく能力を育成する。

（2）大学院においては、人間・社会・自然への深い洞察に基づく総合的判断力と専門分野の高度な学識・技能を育成する。

（3）愛媛大学は、国内外から多様な学生を受け入れるとともに、世界に通用する人材育成のための教育環境を提供する。

（4）愛媛大学は、入学から卒業・修了まで安心して充実した大学生活を送ることができるよう学生を支援し、主体的な学びを保証する。

2　愛媛大学学生として期待される能力〔愛大学生コンピテンシー〕

５つの能力	１２の具体的な力
Ⅰ．知識や技能を適切に運用する能力	１．必要な情報を収集・整理できる ２．個別の知識や技能を相互に関連づけながら習得できる ３．習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立て、適切に表現（記述・口述）できる
Ⅱ．論理的に思考し判断する能力	４．広い視野と論理的思考に基づき分析・解釈できる（クリティカル･シンキング／創造的思考） ５．客観的根拠に基づき判断し、解決策を提示できる（意思決定・判断力／課題探求・発見・解決力）
Ⅲ．多様な人とコミュニケーションする能力	６．様々な状況に応じて適切な対話・討論ができる（ダイアローグ／ディスカッション／プレゼンテーション） ７．目的達成のために多様な人と協働できる（協調性／チームワーク／リーダーシップ）
Ⅳ．自立した個人として生きていく能力	８．自らの個性や適性を活かして行動できる（自己理解／自己決断／リフレクション） ９．社会的関係の中で自分の行動を調整できる（順応性／セルフマネジメント／規範遵守）
Ⅴ．組織や社会の一員として生きていく能力	10．他者を理解し、他者のために役立つことができる（「お接待」の心／ホスピタリティ） 11．集団・組織の一員として自覚と誇りをもって行動できる（責任感／連帯感／帰属意識／愛校心） 12．地域や国内外の課題を自ら考察し、解決に向けて行動できる（社会参画／社会貢献／グローカルマインド）

3　共通教育の理念と教育方針

共通教育の目的は、専門教育と連携しながら、学生が自ら学び、考え、実践する姿勢と能力を身に付け、専門学習のための基盤を整えて専門性の獲得に備えると共に、様々な分野の知を探究することによって、豊かな創造性、人間性、社会性を培うことにある。

共通教育のカリキュラムは「学士基礎力」の育成を目指して編成される。学士基礎力とは、愛媛大学憲章、愛大学生コンピテンシー及び各学部のディプロマ・ポリシーに謳われている、自立した個人として生きていくのに必要な力（「学士力」）の修得のために、学生が身に付けておくべき、以下に掲げるような項目に係る基礎的能力のことである。

① 自らの個性や適性に基づき学び続ける姿勢（基本姿勢）
自分に向き合う／前に踏み出す／自ら必要な知識や技術を学ぶ／自己管理・健康管理／社会的ルールの尊重

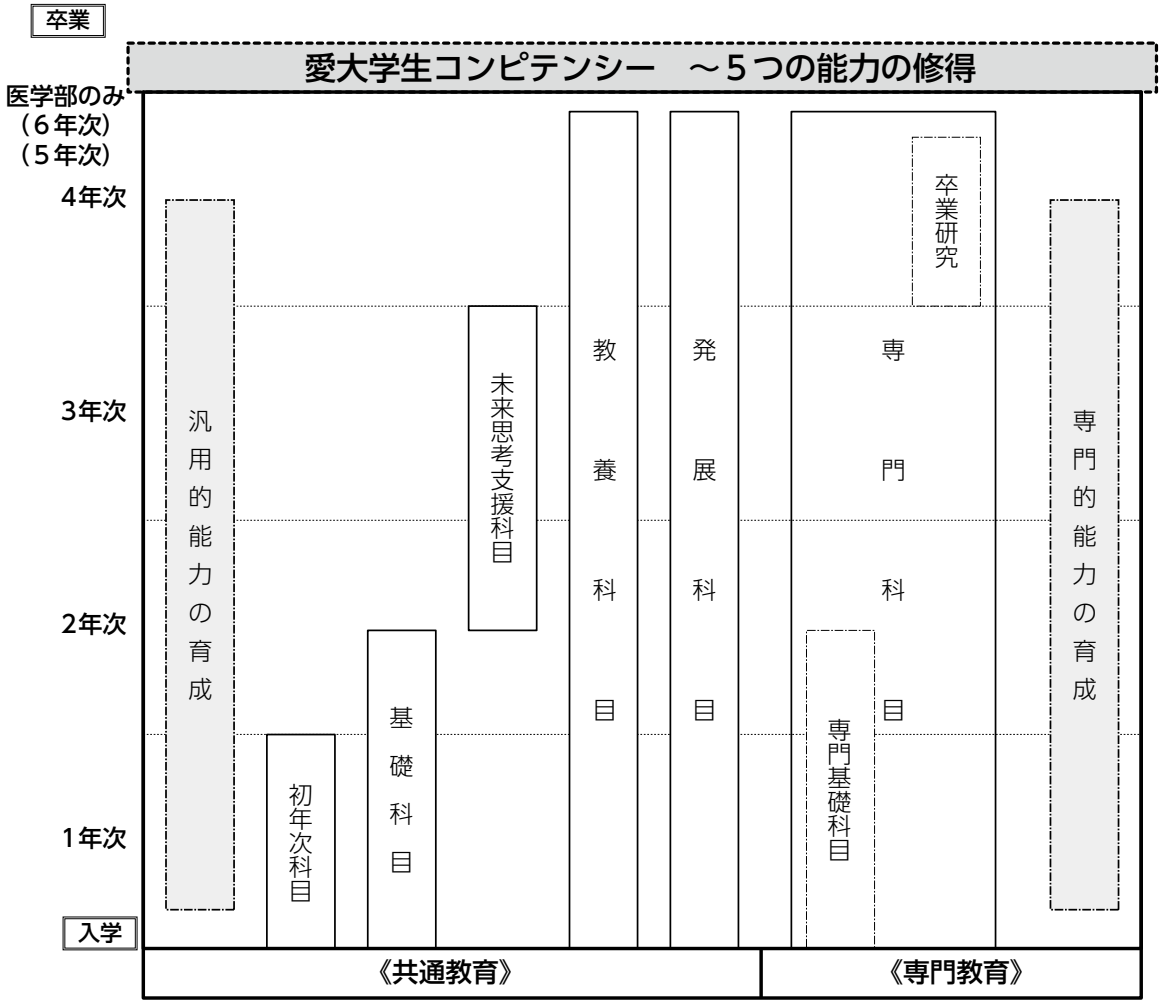
② 多様な人と協働するための表現力やコミュニケーション力（基本的コミュニケーション力）
聴く力／表現する力／チームで働く力／リーダーシップ

③ 学習活動や社会生活で必要な技能（基本技能）
外国語の基礎的運用能力／数量的スキル／情報リテラシー

④ 多角的な視点を培うのに必要な幅広い基礎知識（基礎知識）
諸科学の基礎的知識／異文化理解／人文・社会・自然分野についての包括的理解

⑤ 問題の発見・解決に取り組むための思考力（基本的思考力）
課題を発見する力／論理的思考力／科学的思考力／知識・情報の運用力／計画力

愛媛大学における学びの流れ



Ⅲ．愛媛大学における学びのしくみ

1　大学の授業を学ぶための基本知識

（1）学　　期：本学は、１年間（学年）を前学期と後学期の２つの学期に分けています。
さらに、共通教育では、前学期を第１、第２クォーター、後学期を第３、第４クォーターにそれぞれ２つに分けています。

（2）履　　修：ある授業科目を大学が定めた教育課程に従って学修することで、自らが受けたい授業の登録を行い、所定の時間数の授業を受け、試験等に合格すれば単位を修得できます。この一連の流れを履修といいます。

（3）履修登録：その年度（学期）に履修しようとする科目の授業を受けるための手続のことです。

（4）単　　位：授業科目の学修を数量的に表すものです。授業科目には学修時間に応じた単位数が定められています。

（5）シラバス：授業計画を表し、授業担当教員、授業の概要、各回の授業の計画等が記載されています。授業科目を履修する際には、シラバスを参照し、授業内容を確認してください。

2　授業時間

本学における授業時間は90分を１時限として、共通教育では次の時限と時間で授業を実施しています。

【月～金曜日】

時限	1	2	3	4	5
時間	８：30～10：00	10：20～11：50	12：40～14：10	14：30～16：00	16：20～17：50

※医学部の授業時間帯は、学部の指示に従ってください。

法文学部夜間主コース時間帯

【月～金曜日】

時限	6	7
時間	18：00～19：30	19：40～21：10

【土曜日】

時限	1	2	3
時間	13：30～15：00	15：10～16：40	16：50～18：20

3　単位制度

（1）単位の計算方法

授業科目の単位数は、１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としており、この45時間は、大学の教室等における授業時間と授業時間外の学習（予習・復習等）を合せた時間で成り立ちます。大学の教室等における授業時間及び授業時間外学習と単位数の関係は、それぞれ次のとおりです。

（2）大学での授業時間数及び授業時間外学習と単位数との関係の目安

授業形態	単位数	授業時間数	授業時間外学習（予習・復習等）
講義	１単位	週１時間×15週＝15時間	週２時間×15週＝30時間
演習	１単位	週２時間×15週＝30時間	週１時間×15週＝15時間
実験	１単位	週２時間×15週＝30時間	週１時間×15週＝15時間
実習	１単位	週２時間×15週＝30時間	週１時間×15週＝15時間

4　履修登録単位数の上限設定（ＣＡＰ制）

愛媛大学では、学生の履修登録単位数の上限を設け、１学期間に履修登録できる単位数が制限されていますので、注意してください。これは、一つ一つの授業科目をそれぞれ十分に学習してもらうための措置です。また、上限を設けている具体的な理由は次のとおりです。

大学の単位を修得するためには、授業を受講する以外に、教室外での自学自習（予習、復習、その他の課題、教育体験やボランティア活動など）を併せて行い、受け身でない主体的な学習を行うことが求められています。

制度上のルールでは、１単位は教室での授業と教室外の自学自習を合わせ、45時間の学習を必要とすることが標準とされています。このため、１単位の授業科目で、１学期間に週１回合計15回の授業がある場合には、教室での授業を含め、週３時間の学習が必要になります。

例えば、１人の学生が１週間で学習できる時間を72時間（日曜日以外、毎日12時間学習すると仮定）としても、１学期間に履修できる単位数は24単位、２単位の授業科目であれば12科目分が履修の限度になります。これより多い授業科目を履修しようとすれば、授業の予習・復習などが十分にできなくなり、学習内容を身に付けることができない恐れがあります。このことを防止し、履修登録した授業科目をそれぞれ十分に学習することができるよう、１学期間中に履修登録できる単位数を制限しているものです。

予習や復習の他にも、図書館で参考文献を講読したり、各種の体験活動に参加して知識・技能を高めたり、教員や先輩と話をするなど大学生活ではぜひ自分なりのテーマを発見して解決する、学ぶことの楽しさを感じてください。

※CAP制の詳細については、各学部の学務チーム窓口又は各学部の履修案内等で確認してください。

5　成績の評価

（１）学業成績の評価は、試験及び平素の成績を総合して判定します。

試験は、筆記、レポート、口述、実演・実技試験等により実施します。平素の成績は、研究報告、随時行う小テスト、学習状況等により判定します。学業成績の判定については、授業科目ごとに、シラバスの「成績評価方法」の項目に記載されていますから参考にしてください。

（２）成績は、100点満点で評価され、点数により次のような「評語」が与えられます。

60点以上の評点を得た科目は、合格となり、所定の単位を修得できます。

なお、開講時数の３分の２以上の出席をしていない場合は、「評価しない」として成績の判定が行われず、単位は認定されません。

評　語	評　点	基　準
秀	90 ～ 100点	授業科目の到達目標を極めて高い水準で達成している。
優	80 ～ 89点	授業科目の到達目標を高い水準で達成している。
良	70 ～ 79点	授業科目の到達目標を標準的な水準で達成している。
可	60 ～ 69点	授業科目の到達目標を最低限の水準で達成している。
不可	60点未満	授業科目の到達目標を達成していない。
評価しない	出席不足など評価基準に達しない	授業科目の到達目標を達成していない。

6　全学共通GPAについて

（1）全学共通GPA導入の目的

学生自身による学習プロセス及び達成状況の自己管理に役立てるとともに、教員による学生の学修状況の把握及びきめ細やかな指導・助言を行うために全学共通GPAを導入します。

（2）全学共通GPA（成績平均値）の計算式

$$\text{GPA} = \frac{\text{4×「秀」の単位数＋3×「優」の単位数＋2×「良」の単位数＋1×「可」の単位数＋0×「不可」・「評価しない」の単位数}}{\text{総履修登録単位数（「不可」・「評価しない」を含む）}}$$

※　共通教育科目及び専門教育科目の全ての科目が対象となります。ただし、「認定」、「合格」で評価された科目及び履修登録科目の取消（以下（3）を参照）を行った科目は計算式に入りません。

【GP（grade point）と成績評価点】

GP	評　語	点　　数　　等
4	秀	90 ～ 100点
3	優	80 ～ 89点
2	良	70 ～ 79点
1	可	60 ～ 69点
0	不可	60点未満
0	評価しない	出席不足など評価基準に達しない

（3）履修登録科目の取消について

履修登録確認・修正期間を過ぎても、※**取消期間**中であれば履修登録科目を取消すことができます。履修登録科目取消届を共通教育チームへ提出し、取消しの手続きを行ってください。

※**取消期間**中に取消さなかった科目は成績評価の対象科目となり、GPAの計算式に入ります。ただし、病気・けがによってそれ以降履修を取りやめる場合は、取消しできる場合がありますので、共通教育チームにお問い合わせください。なお、履修登録後、休学・退学した場合及び除籍された場合は、取消期間に関わらず履修登録科目は自動的に取消されます。

履修登録は、学生生活担当教員（指導教員）の履修指導を受け、履修計画を立ててから行ってください。

※取消期間

各授業科目につき、開講時数に対応する授業の回数が15回の場合は６回目の授業が始まるまで、８回の場合は４回目の授業が始まるまで、それ以外の場合は開講回数に３分の１を乗じて得られた数（小数点以下切り上げ）に１を加えた回数の授業が始まるまでとなります。ただし、既に欠席が開講回数の３分の１を超えている場合の取消は認められません。

（4）GPAの確認方法

修学支援システムの「個別成績表」及び「成績集計値・GPA」に、通算GPA、GPT（GPの合計）、学期GPA、GPTが表示されます。

7　科目ナンバリング

大学で開講している授業の水準や授業内容などを授業科目毎に特定の記号や数字を付与し、カリキュラムの体系性（科目群の構成や科目間の順次性）をわかりやすく示したものです。学生のみなさんにとっては、科目ナンバリングを教育課程表やシラバスで確認することで、授業の登録や履修を主体的かつ計画的に進めるための一助となります。

（例）共通教育初年次科目『こころと健康』GnE1A-0FRS-003

GnE	＋	1	＋	A	－	0	＋	FRS	－	003
【1】		【2】		【3】		【4】		【5】		【6】

共通教育科目のナンバリングのルール

【1】開講学部学科

共通教育	GnE

【2】学年レベル　1,2,3,4

【3】科目区分（大科目群に分類）

初年次科目	A
基礎科目	B
未来思考支援科目	F
教養科目	C
発展科目	D
留学生対象科目	E

【4】分野大分類　0（その他）

【5】科目分類（科目群に分類）

初年次科目	FRS	(freshmen)
基礎科目		
英語（科目群）	ENG	(English)
数学（科目群）	MTH	(mathematics)
その他	BAS	(basic)
未来思考支援科目	FTS	(Futures Thinking)
教養科目		
主題探究型科目	THM	(theme-based)
学問分野別科目	CAT	(category-based)
初修外国語	FRL	(foreign language)
高年次教養科目	HGH	(high degree)
教員免許に関する科目	TCH	(teacher's license)
発展科目	XTN	(extension)
留学生対象科目	INS	(international student)

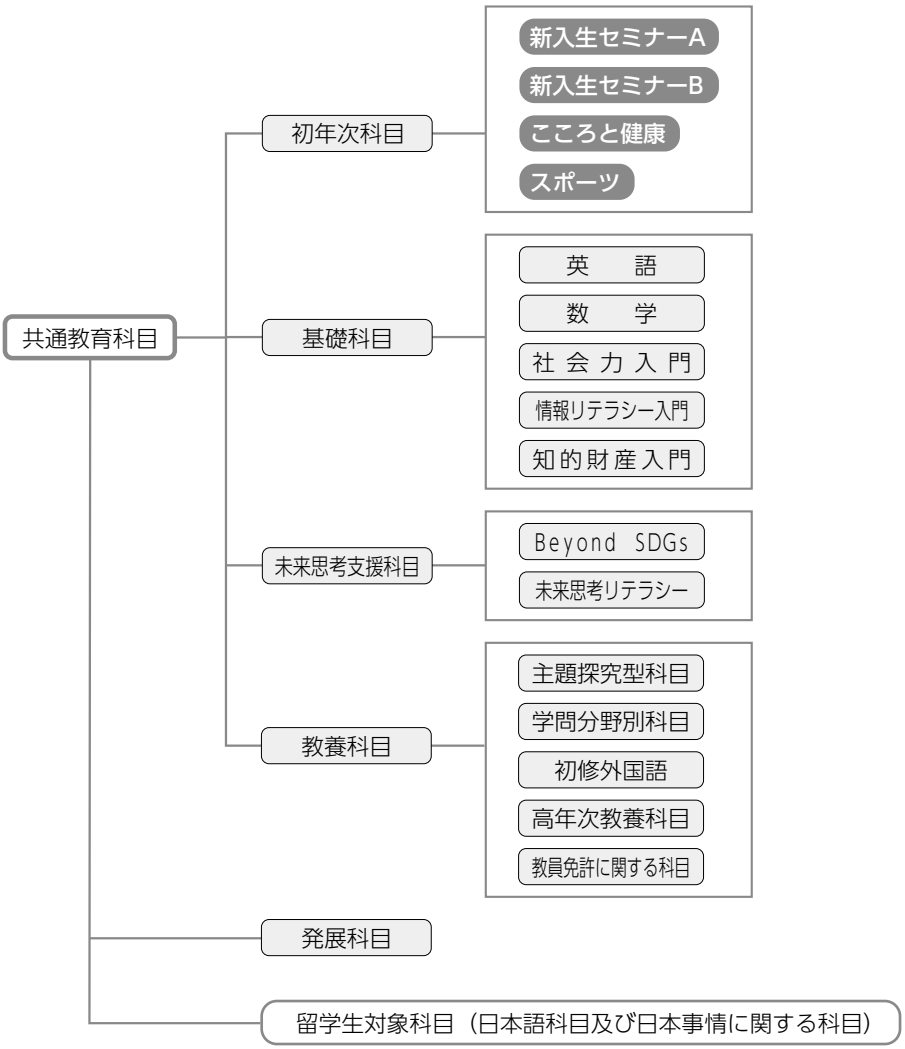
【6】科目番号　科目ごとに付番

8　卒業の要件

所属する学部が定めた所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得した場合は、卒業が認定されます。また、学部によって、GPAの基準を満たすことが卒業の要件に加えられることがあります。21ページ以降に記載している学部ごとの「履修単位表」及び「教育課程表」を確認のうえ、所属の学部の履修案内等に従ってください。

Ⅳ. 共通教育の学び

共通教育の教育課程は、下図に示す科目群、科目区分で構成されています。
それぞれの科目区分ごとに、15ページ以降に記載されている授業科目が開講されます。



1　初年次科目

新入生が、健康で充実した学生生活を送るための知識や能力（ライフ・スキル）を獲得し、大学における効果的な学修方法（スタディ・スキル）を身に付けることを目的としています。高校から大学への導入的役割を担う科目です。

（1）新入生セミナーA、B

大学において自主的・能動的な学修を行う際に必要となる技能の修得や、専門分野の全体像を早い段階で広く理解することを目指す科目です。主に各学部学科の教員が担当します。

（2）こころと健康

大学に入学した皆さんが、心身の健康や良好な食習慣・運動習慣のあり方などについて学ぶことにより、健全な学生生活を継続的に送ることを目的とした科目です。

（3）スポーツ

健康と体力の維持・増進を行って心身の調和を図り、また、生涯にわたって健康的で豊かな生活を送るために必要な基礎技術・知識を習得することを目指す科目です。

2　基礎科目

大学における学修全般の支えとなる、基礎知識や基礎的能力を身に付けるための科目です。各学部における専門教育の基盤ともなります。

（1）英語

共通教育における英語は、高校までに学んできた英語の知識をしっかりと定着させ、専門教育において必要不可欠な英語能力、また、国際的なコミュニケーション能力を有する英語力の習得に重点を置いています。

（2）数学

高校で学習した数学を基礎として、理系学部における専門科目を学習する際に必要となる「微積分」、「線形代数」等を学ぶための科目です。

（3）社会力入門

人生の新しい段階（社会）へと移行する若者の成長を支えるキャリア教育科目です。社会を形成し、維持していくために必要不可欠な資質・能力について学び、生涯を通じた持続的な就業力の育成や豊かな人間形成と人生設計について考えます。

（4）情報リテラシー入門

ネットワークの安全性や仕組みを理解した上で、コンピュータを用いてデータをどのように取得し利用するのかを数理・データサイエンス及びAIの重要性と共に理解し、データ駆動型の社会に対応する能力を養成します。

（5）知的財産入門

知的財産の全体概要を理解するとともに、レポートや論文作成時に必要とする知的財産の知識など、身近な事例をテーマにして、概念の理解や初歩的な知的財産対応力を養成します。

3　未来思考支援科目

変化の時代を生き抜き、世界的課題を理解して地域や国内外に生じる未来に向けた課題解決に貢献できる人材となるための基礎的知識と思考力を身に付けるための科目です。

（1）Ｂｅｙｏｎｄ　ＳＤＧｓ

いまなぜSDGsの達成が求められているのかについてその全体像を探るとともに、SDGsの17の目標と169のターゲットについての理解を深めます。

その上で、Beyond SDGs時代における地球のあるべき姿を追い求めるべく、現代社会が抱える課題がSDGsとどう関連するのか、そしてその克服の仕方について学びます。

（2）未来思考リテラシー

これからの社会の担い手として、未来を予測し、変化する世界の中で他者と協働しながら、課題の解決や新しい価値の創造を行うための知識や姿勢について学びます。

地域社会や地球環境など俯瞰した視野から未来を捉えることを目指します。

4　教養科目

各学問分野の基本的なものの見方や知識を幅広く理解するとともに、主体的な学びを通して汎用的能力を育成し、良識ある社会人として求められる豊かな人間性を養うための科目です。

（1）主題探究型科目

授業で提示された主題（問い）を基に、受講生が自ら学習課題を設定し、主体的な学習（アクティブ・ラーニング）を行いながら、課題を探究する科目です。能動的な学修の姿勢が求められます。受講生は数十名程度の、小規模のクラスサイズが想定されています。

（2）学問分野別科目（総合・人文学・社会科学・自然科学）

「総合分野」、「人文学分野」、「社会科学分野」、「自然科学分野」に属する各学問の基本的なものの見方・方法論や知識を理解することを目指します。初めてその学問を学ぶ学生が対象です。なるべく自分の専門領域以外の学問を選択してください。受講生は100 ～ 200名程度の、大規模のクラスサイズが想定されています。

（3）初修外国語

「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「朝鮮語」とこれまで学ぶ機会がほとんどなかった英語以外の外国語を学ぶための科目です。基本的には１年間で同一言語４単位を修得することを目指します。

（4）高年次教養科目

２年次以降に、学問領域に関する種々の主題を例として、高度な教養を身に付けることを目的とした科目です。「文系主題科目」と「理系主題科目」の２つの授業科目があり、中には四国５大学連携共同実施による授業（知プラｅ科目）もあります。

（5）教員免許に関する科目

「教職日本国憲法」及び「スポーツと教育」の２つの授業科目があります。教育職員免許状の取得を目指す学生以外は履修できません。詳細はＰ45に記載している履修条件を確認してください。

5　発展科目

本学独自の資格取得を目的とする科目や全学的な副専攻的科目として、開設された科目です。発展科目には、「ＳＵＩＪＩサーバント・リーダー養成に関する科目」、「環境ＥＳＤ指導者養成に関する科目」、「愛媛大学リーダーズ・スクールに関する科目」、「スキルアップ科目」があります。

6　留学生対象科目

留学生の皆さんが日本での生活や学習に対応できるように、基礎レベルの日本語、日本の文化や伝統、日本社会の現実等について学びます。

V. 共通教育授業科目表

「共通教育授業科目表」は、共通教育で開講される全ての授業科目を科目区分ごとに示した一覧表です。

【重複履修について】

下記共通教育授業科目表の「重複履修」欄に記載の記号は、それぞれ次の意味を表します。

「×」・・・重複履修ができない科目

「●」・・・重複履修ができ、単位を修得できる科目

「▲」・・・同一科目名でも、担当教員が異なれば、重複履修ができ、単位を修得できる科目

「■」・・・同一科目名でも、授業題目が異なれば、重複履修ができ、単位を修得できる科目

【科目ナンバリングについて】

科目ナンバリング中の「*」は学年レベルを表します。それぞれの開講科目の学年レベルはシラバスで確認してください。

1　初年次科目

授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
新入生セミナーA	2	×		GnE*A-0FRS-001
新入生セミナーB	2	×		GnE*A-0FRS-002
こころと健康	2	×		GnE*A-0FRS-003
スポーツ	1	×		GnE*A-0FRS-004

2　基礎科目

（1）英語

授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
英語Ⅰ	1	×		GnE*B-0ENG-001
英語Ⅱ	1	×		GnE*B-0ENG-002
英語Ⅲ	1	×		GnE*B-0ENG-003
英語Ⅳ	1	×		GnE*B-0ENG-004

（2）数学

授　業　科　目	単位	重複履修	備　　考	科目ナンバリング
線形代数	2	×	教育学部　学校教育教員養成課程 中等教育コース数学教育専攻	GnE*B-0MTH-011
解析学入門	2	×	教育学部　学校教育教員養成課程 中等教育コース数学教育専攻	GnE*B-0MTH-012
微積分	2	×	理学部	GnE*B-0MTH-013
線形代数Ⅰ	2	×	工学部	GnE*B-0MTH-005
線形代数Ⅱ	2	×	工学部	GnE*B-0MTH-006
微積分Ⅰ	4	×	工学部	GnE*B-0MTH-003
微積分Ⅱ	2	×	工学部	GnE*B-0MTH-004
解析学入門	2	×	農学部	GnE*B-0MTH-012

（3）社会力入門

授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
社会力入門	1	×		GnE*B-0BAS-002

（4）情報リテラシー入門

授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
情報リテラシー入門Ⅰ	1	×		GnE*B-0BAS-003
情報リテラシー入門Ⅱ	1	×		GnE*B-0BAS-004

（5）知的財産入門

授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
知的財産入門	1	×		GnE*B-0BAS-007

3　未来思考支援科目

授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
Ｂｅｙｏｎｄ　ＳＤＧｓ	1	×		GnE*F-0FTS-001
未来思考リテラシー	1	×		GnE*F-0FTS-002

4　教養科目

（1）主題探究型科目

区　分	授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
	環境を考える	1	▲		GnE*C-0THM-001
	倫理と思想を考える	1	▲		GnE*C-0THM-002
	歴史を考える	1	▲		GnE*C-0THM-003
	ことばの世界	1	▲		GnE*C-0THM-004
	芸術の世界	1	▲		GnE*C-0THM-005
	地域と世界	1	▲		GnE*C-0THM-006
	社会のしくみを考える	1	▲		GnE*C-0THM-007
	現代社会の諸問題	1	▲		GnE*C-0THM-008
	現代と科学技術	1	▲		GnE*C-0THM-009
	自然のしくみ	1	▲		GnE*C-0THM-010
	生命の不思議	1	▲		GnE*C-0THM-011

（2）学問分野別科目

区　分	授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
総合分野	環境学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-001
	人間科学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-002
	生活科学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-003
人文学分野	哲学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-004
	文学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-005
	言語学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-006
	歴史学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-007
	考古学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-008
	地理学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-009
社会科学分野	法学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-010
	政策科学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-011
	経済学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-012
	社会学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-013
	心理学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-014
自然科学分野	数学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-016
	物理学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-017
	化学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-018
	生物学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-019
	地学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-020
	工学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-021
	農学入門	1	▲		GnE*C-0CAT-022

(3) 初修外国語

区　分	授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
	初級ドイツ語Ⅰ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-001
	初級ドイツ語Ⅱ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-002
	初級ドイツ語Ⅲ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-003
	初級ドイツ語Ⅳ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-004
	初級フランス語Ⅰ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-005
	初級フランス語Ⅱ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-006
	初級フランス語Ⅲ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-007
	初級フランス語Ⅳ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-008
	初級中国語Ⅰ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-009
	初級中国語Ⅱ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-010
	初級中国語Ⅲ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-011
	初級中国語Ⅳ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-012
	初級朝鮮語Ⅰ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-013
	初級朝鮮語Ⅱ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-014
	初級朝鮮語Ⅲ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-015
	初級朝鮮語Ⅳ	1	×	注1	GnE*C-0FRL-016

(4) 高年次教養科目

区　分	授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
	文系主題科目	1	■		GnE*C-0HGH-001
	文系主題科目	2	■		GnE*C-0HGH-002
	理系主題科目	1	■		GnE*C-0HGH-003
	理系主題科目	2	■		GnE*C-0HGH-004

(5) 教員免許に関する科目

区　分	授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
	スポーツと教育	1	×	注2	GnE*C-0TCH-001
	教職日本国憲法	2	×	注2	GnE*C-0TCH-002

5　発展科目

区　分	授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
ＳＵＩＪＩサーバント・リーダー養成に関する科目	ベーシック国内サービスラーニング	4	×		GnE*D-0XTN-004
	ベーシック海外サービスラーニング	4	×		GnE*D-0XTN-005
	アドバンスド国内サービスラーニング	4	×		GnE*D-0XTN-006
	アドバンスド海外サービスラーニング	4	×		GnE*D-0XTN-007
環境ＥＳＤ指導者養成に関する科目	ＳＤＧｓ－グローカル未来創成入門	2	×		GnE*D-0XTN-040
	環境ＥＳＤ指導者養成講座Ⅰ	4	×		GnE*D-0XTN-009
	環境ＥＳＤ指導者養成講座Ⅱ	4	×		GnE*D-0XTN-010
愛媛大学リーダーズ・スクールに関する科目	愛媛大学リーダーズ・スクール	2	×		GnE*D-0XTN-013
	ファシリテーションとリーダーシップ	2	×		GnE*D-0XTN-039
	グローバル・リーダーシップⅠ	1	●		GnE*D-0XTN-014
	グローバル・リーダーシップⅡ	1	●		GnE*D-0XTN-015
スキルアップ科目	英語Ｓ１	2	●	注３	GnE*D-0XTN-030
	英語Ｓ２	2	●	注３	GnE*D-0XTN-031
	英語Ｓ３	2	■	注３	GnE*D-0XTN-032

6　留学生対象科目

区　分	授　業　科　目	単位	重複履修	備考	科目ナンバリング
日本語科目	アカデミックジャパニーズ１	1	×	＊	GnE*E-0INS-001
	アカデミックジャパニーズ２	1	×	＊	GnE*E-0INS-002
	アカデミックジャパニーズ３	1	×	＊	GnE*E-0INS-003
	アカデミックジャパニーズ４	1	×	＊	GnE*E-0INS-004
日本事情に関する科目	日本事情Ａ１	2	▲	＊	GnE*E-0INS-029
	日本事情Ａ２	2	▲	＊	GnE*E-0INS-030
	日本事情Ｂ１	2	▲	＊	GnE*E-0INS-031
	日本事情Ｂ２	2	▲	＊	GnE*E-0INS-032

＊　これらの授業科目について次の表の第１欄に掲げる単位を修得したときは、各学部の定めるところにより、第２欄に掲げる単位に替えることができます。なお、「日本語科目」と「英語」の単位を合算して４単位にすることはできません。

第１欄	第２欄
日本語科目　　４単位	英語　　４単位
日本事情に関する科目　８単位まで	教養科目　８単位まで

【備　考】

注１．法文学部人文社会学科（昼間主コース）の学生は履修することができません。

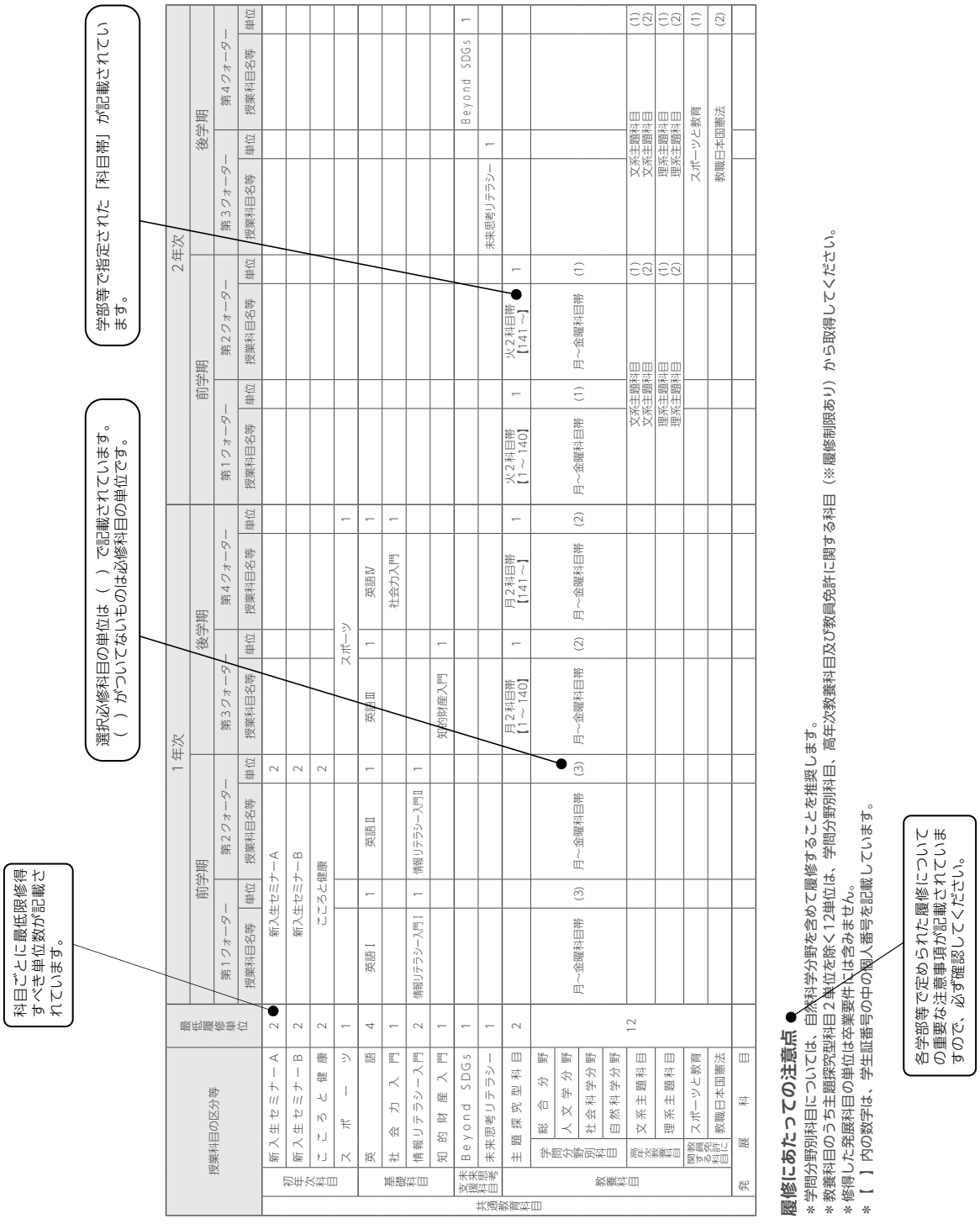
注２．「スポーツと教育」及び「教職日本国憲法」は、教育職員免許状取得を目指す学生のみ履修可能です。

注３．「英語Ｓ１」「英語Ｓ２」「英語Ｓ３」は、令和４年度以前入学生が対象の「英語プロフェッショナル養成コース」対象科目と同時開講される場合があります。

Ⅵ. 学部ごとの履修単位表及び教育課程表

学部・学科・課程・コース別に、それぞれ卒業の要件が定められており、「履修単位表」に、必要な科目や単位数が示されています。「教育課程表」では、その科目の履修時期を表しています。自分が所属する学部・学科・課程・コースの表を十分確認してから履修をしてください。また、「教育課程表」の下にある履修にあたっての注意点を必ず読んでください。下図に、「教育課程表」の見方を記載していますので、履修の際の参考にしてください。

「教育課程表」の見方



履修にあたっての注意点

＊学問分野別科目については、自然科学分野を含めて履修することを推奨します。
＊教養科目のうち主題探究型科目2単位を除く12単位は、学問分野別科目、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得してください。
＊修得した発展科目の単位は卒業要件には含みません。
＊【 】内の数字は、学生証番号を記載しています。

各学部等で定められた履修についての重要な注意事項が記載されていますので、必ず確認してください。

履修単位表

法文学部

科目区分				学科・コース：人文社会学科 昼間主コース
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA		2単位
		新入生セミナーB		2単位
		こころと健康		2単位
		スポーツ		1単位
		小計		**7単位**
	基礎科目	英語		4単位
		社会力入門		1単位
		情報リテラシー入門		2単位
		知的財産入門		1単位
		小計		**8単位**
	未来思考支援科目	Beyond SDGs		1単位
		未来思考リテラシー		1単位
		小計		**2単位**
	教養科目	主題探究型科目		2単位
		学問分野別科目	総合分野	12単位
			人文学分野	
			社会科学分野	
			自然科学分野	
		高年次教養科目	文系主題科目	
			理系主題科目	
		教員免許に関する科目	スポーツと教育	
			教職日本国憲法	
		小計		**14単位**
	発展科目			
	計			**31単位**
専門教育科目				84単位
自由選択				12単位
合計				**127単位**

科目区分				学科・コース：人文社会学科 夜間主コース
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA		2単位
		新入生セミナーB		2単位
		こころと健康		2単位
		スポーツ		1単位
		小計		**7単位**
	基礎科目	英語		4単位
		社会力入門		1単位
		情報リテラシー入門		2単位
		知的財産入門		1単位
		小計		**8単位**
	未来思考支援科目	Beyond SDGs		1単位
		未来思考リテラシー		1単位
		小計		**2単位**
	教養科目	主題探究型科目		2単位
		学問分野別科目	総合分野	12単位
			人文学分野	
			社会科学分野	
			自然科学分野	
		初修外国語		
		高年次教養科目	文系主題科目	
			理系主題科目	
		教員免許に関する科目	スポーツと教育	
			教職日本国憲法	
		小計		**14単位**
	発展科目			
	計			**31単位**
専門教育科目				76単位
自由選択				18単位
合計				**125単位**

(注)・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。

・昼間主コースにおいては、教養科目のうち主題探究型科目２単位を除く12単位は、学問分野別科目、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

・夜間主コースにおいては、教養科目のうち主題探究型科目２単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

教育課程表

法文学部（昼間主コース）

授業科目の区分等			最低履修単位	1年次								2年次							
				前学期				後学期				前学期				後学期			
				第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター		第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター	
				授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2	新入生セミナーA			2												
		新入生セミナーB	2	新入生セミナーB			2												
		こころと健康	2	こころと健康			2												
		スポーツ	1					スポーツ			1								
	基礎科目	英語	4	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1	英語Ⅲ	1	英語Ⅳ	1								
		社会力入門	1							社会力入門	1								
		情報リテラシー入門	2	情報リテラシー入門Ⅰ	1	情報リテラシー入門Ⅱ	1												
		知的財産入門	1					知的財産入門	1										
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1															Beyond SDGs	1
		未来思考リテラシー	1													未来思考リテラシー	1		
	教養科目	主題探究型科目	2					月2科目帯【1～140】	1	月2科目帯【141～】	1	火2科目帯【1～140】	1	火2科目帯【141～】	1				
		学問分野別科目 総合分野	12	月～金曜科目帯	(3)	月～金曜科目帯	(3)	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(1)	月～金曜科目帯	(1)				
		学問分野別科目 人文学分野																	
		学問分野別科目 社会科学分野																	
		学問分野別科目 自然科学分野																	
		高年次教養科目 文系主題科目										文系主題科目 文系主題科目			(1) (2)	文系主題科目 文系主題科目			(1) (2)
		高年次教養科目 理系主題科目										理系主題科目 理系主題科目			(1) (2)	理系主題科目 理系主題科目			(1) (2)
		教員免許に関する科目 スポーツと教育														スポーツと教育			(1)
		教員免許に関する科目 教職日本国憲法														教職日本国憲法			(2)
	発展科目																		

履修にあたっての注意点

＊学問分野別科目については、自然科学分野を含めて履修することを推奨します。
＊教養科目のうち主題探究型科目２単位を除く12単位は、学問分野別科目、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得してください。
＊修得した発展科目の単位は卒業要件には含みません。
＊【　】内の数字は、学生証番号の中の個人番号を記載しています。

法文学部（夜間主コース）

授業科目の区分等			最低履修単位	1年次								2年次							
				前学期				後学期				前学期				後学期			
				第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター		第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター	
				授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2	新入生セミナーA			2												
		新入生セミナーB	2	新入生セミナーB			2												
		こころと健康	2	こころと健康			2												
		スポーツ	1	スポーツ			1												
	基礎科目	英語	4	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1	英語Ⅲ	1	英語Ⅳ	1								
		社会力入門	1							社会力入門	1								
		情報リテラシー入門	2	情報リテラシー入門Ⅰ	1	情報リテラシー入門Ⅱ	1												
		知的財産入門	1					知的財産入門	1										
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1															Beyond SDGs	1
		未来思考リテラシー	1													未来思考リテラシー	1		
	教養科目	主題探究型科目	2					木7科目帯	1			水7科目帯	1						
		学問分野別科目 総合分野	12	月～土曜科目帯	(3)	月～土曜科目帯	(3)	月～土曜科目帯	(2)	月～土曜科目帯	(2)	月～土曜科目帯	(1)	月～土曜科目帯	(1)				
		学問分野別科目 人文学分野																	
		学問分野別科目 社会科学分野																	
		学問分野別科目 自然科学分野																	
		初修外国語		初級ドイツ語Ⅰ 初級フランス語Ⅰ 初級中国語Ⅰ 初級朝鮮語Ⅰ	(1)	初級ドイツ語Ⅱ 初級フランス語Ⅱ 初級中国語Ⅱ 初級朝鮮語Ⅱ	(1)	初級ドイツ語Ⅲ 初級フランス語Ⅲ 初級中国語Ⅲ 初級朝鮮語Ⅲ	(1)	初級ドイツ語Ⅳ 初級フランス語Ⅳ 初級中国語Ⅳ 初級朝鮮語Ⅳ	(1)								
		高年次教養科目 文系主題科目										文系主題科目 文系主題科目			(1) (2)	文系主題科目 文系主題科目			(1) (2)
		高年次教養科目 理系主題科目										理系主題科目 理系主題科目			(1) (2)	理系主題科目 理系主題科目			(1) (2)
		教員免許に関する科目 スポーツと教育														スポーツと教育			(1)
		教員免許に関する科目 教職日本国憲法														教職日本国憲法			(2)
	発展科目																		

履修にあたっての注意点

＊学問分野別科目については、自然科学分野を含めて履修することを推奨します。
＊「初修外国語」を履修する場合は、前学期についてはⅠとⅡ、後学期については前学期と同じ言語のⅢとⅣをセットで履修してください。
＊教養科目のうち主題探究型科目２単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得してください。
＊教職免許取得希望者は、昼間に開講される教員免許に関する科目の「スポーツと教育」及び「教職日本国憲法」を必ず履修してください。
＊修得した発展科目の単位は卒業要件には含みません。

履修単位表

教育学部

科目区分 ＼ 課程・コース・専攻			学校教育教員養成課程													
			初等教育コース		中等教育コース										特別支援教育コース	
			幼年教育サブコース	小学校サブコース	国語教育	社会科教育	数学教育	理科教育	音楽教育	美術教育	保健体育	技術教育	家政教育	英語教育	小学校基礎免	中学校基礎免
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2単位													
		新入生セミナーB	2単位													
		こころと健康	2単位													
		スポーツ	1単位													
		小計	**7単位**													
	基礎科目	英語	4単位													
		数学					線形代数 2単位 解析学入門 2単位									
		社会力入門	1単位													
		情報リテラシー入門	2単位													
		知的財産入門	1単位													
		小計	**8単位**				**12単位**	**8単位**								
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1単位													
		未来思考リテラシー	1単位													
		小計	**2単位**													
	教養科目	主題探究型科目	2単位													
		学問分野別科目 総合分野	9単位													
		学問分野別科目 人文学分野														
		学問分野別科目 社会科学分野														
		学問分野別科目 自然科学分野														
		初修外国語														
		高年次教養科目 文系主題科目														
		高年次教養科目 理系主題科目														
		教員免許に関する科目 スポーツと教育	1単位													
		教員免許に関する科目 教職日本国憲法	2単位													
		小計	**14単位**	**14単位**	**14単位**	**14単位**	**14単位**	**14単位**	**14単位**	**14単位**	**14単位**	**14単位**	**14単位**	**14単位**	**14単位**	**14単位**
	発展科目		(注) 参照													
	計		**31単位**	**31単位**	**31単位**	**31単位**	**35単位**	**31単位**	**31単位**	**31単位**	**31単位**	**31単位**	**31単位**	**31単位**	**31単位**	**31単位**
専門教育科目	専門科目		93単位	87単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	96単位	95単位
自由選択			6単位	12単位	19単位	19単位	15単位	19単位	19単位	19単位	19単位	19単位	19単位	19単位	3単位	4単位
合計			**130単位**	**130単位**	**130単位**	**130単位**	**130単位**	**130単位**	**130単位**	**130単位**	**130単位**	**130単位**	**130単位**	**130単位**	**130単位**	**130単位**

(注)・「発展科目」は、卒業要件上の「自由選択」の単位となる。
・教養科目のうち主題探究型科目２単位及び教員免許に関する科目３単位を除く９単位は、学問分野別科目、初修外国語及び高年次教養科目から取得すること。

教育学部

授業科目の区分等			最低履修単位	1年次								2年次							
				前学期				後学期				前学期				後学期			
				第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター		第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター	
				授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2	新入生セミナーA			2												
		新入生セミナーB	2	新入生セミナーB			2												
		こころと健康	2	こころと健康			2												
		スポーツ	1					スポーツ			1								
	基礎科目	英語	4	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1	英語Ⅲ	1	英語Ⅳ	1								
		数学（中等教育コース数学教育専攻のみ）	4	線形代数			2												
				解析学入門			2												
		社会力入門	1							社会力入門	1								
		情報リテラシー入門	2	情報リテラシー入門Ⅰ	1	情報リテラシー入門Ⅱ	1												
		知的財産入門	1					知的財産入門	1										
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1													Beyond SDGs	1		
		未来思考リテラシー	1															未来思考リテラシー	1
	教養科目	主題探究型科目	2					月2科目帯【1～80】	1	月2科目帯【81～】	1	金2科目帯【1～80】	1	金2科目帯【81～】	1				
		学問分野別科目 総合分野	9	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(3)	月～金曜科目帯	(3)	月～金曜科目帯	(1)	月～金曜科目帯	(1)				
		学問分野別科目 人文学分野																	
		学問分野別科目 社会科学分野																	
		学問分野別科目 自然科学分野																	
		初修外国語		初級ドイツ語Ⅰ 初級フランス語Ⅰ 初級中国語Ⅰ 初級朝鮮語Ⅰ	(1)	初級ドイツ語Ⅱ 初級フランス語Ⅱ 初級中国語Ⅱ 初級朝鮮語Ⅱ	(1)	初級ドイツ語Ⅲ 初級フランス語Ⅲ 初級中国語Ⅲ 初級朝鮮語Ⅲ	(1)	初級ドイツ語Ⅳ 初級フランス語Ⅳ 初級中国語Ⅳ 初級朝鮮語Ⅳ	(1)								
		高年次教養科目 文系主題科目										文系主題科目 文系主題科目	(1) (2)			文系主題科目 文系主題科目			(1) (2)
		高年次教養科目 理系主題科目										理系主題科目 理系主題科目	(1) (2)			理系主題科目 理系主題科目			(1) (2)
		教員免許に関する科目 スポーツと教育	1													スポーツと教育			1
		教員免許に関する科目 教職日本国憲法	2					教職日本国憲法			2								
	発展科目																		

履修にあたっての注意点

＊教員免許に関する科目の「スポーツと教育」及び「教職日本国憲法」を必ず履修してください。
＊中等教育コース数学教育専攻の学生は、数学の「線形代数」及び「解析学入門」を必ず履修してください。
＊学問分野別科目については、自然科学分野を含めて履修することを推奨します。
＊「初修外国語」を履修する場合は、前学期についてはⅠとⅡ、後学期については前学期と同じ言語のⅢとⅣをセットで履修してください。
＊教養科目のうち主題探究型科目２単位及び教員免許に関する科目３単位を除く９単位は、学問分野別科目、初修外国語及び高年次教養科目から取得してください。
＊「発展科目」で修得した単位は、卒業要件上の「自由選択」の単位となります。
＊【　】内の数字は、学生証番号の中の個人番号を記載しています。

履修単位表

社会共創学部

科目区分 ＼ 学科				産業マネジメント学科	産業イノベーション学科	環境デザイン学科	地域資源マネジメント学科
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA		2単位			
		新入生セミナーB		2単位			
		こころと健康		2単位			
		スポーツ		1単位			
		小計		**7単位**			
	基礎科目	英語		4単位			
		社会力入門		1単位			
		情報リテラシー入門		2単位			
		知的財産入門		1単位			
		小計		**8単位**			
	未来思考支援科目	Beyond SDGs		1単位			
		未来思考リテラシー		1単位			
		小計		**2単位**			
	教養科目	主題探究型科目		2単位			
		学問分野別科目	総合分野	12単位			
			人文学分野				
			社会科学分野				
			自然科学分野				
		初修外国語					
		高年次教養科目	文系主題科目				
			理系主題科目				
		教員免許に関する科目	スポーツと教育				
			教職日本国憲法				
		小計		**14単位**			
	発展科目						
	計			**31単位**			
専門教育科目	専門科目			93単位			
合計				**124単位**			

(注)・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。
・教養科目のうち主題探究型科目２単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語及び高年次教養科目から取得すること。

社会共創学部

授業科目の区分等			最低履修単位	1年次								2年次							
				前学期				後学期				前学期				後学期			
				第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター		第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター	
				授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2	新入生セミナーA			2												
		新入生セミナーB	2					新入生セミナーB	2										
		こころと健康	2	こころと健康			2												
		スポーツ	1	スポーツ			1												
	基礎科目	英語	4	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1	英語Ⅲ	1	英語Ⅳ	1								
		社会力入門	1							社会力入門	1								
		情報リテラシー入門	2	情報リテラシー入門Ⅰ	1	情報リテラシー入門Ⅱ	1												
		知的財産入門	1					知的財産入門	1										
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1													Beyond SDGs	1		
		未来思考リテラシー	1															未来思考リテラシー	1
	教養科目	主題探究型科目	2					木2科目帯【産業マネジメント 環境デザイン】	1	木2科目帯【産業イノベーション 地域資源マネジメント】	1	金2科目帯【産業マネジメント 環境デザイン】	1	金2科目帯【産業イノベーション 地域資源マネジメント】	1				
		学問分野別科目 総合分野	12	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(3)	月～金曜科目帯	(3)	月～金曜科目帯	(1)	月～金曜科目帯	(1)				
		学問分野別科目 人文学分野																	
		学問分野別科目 社会科学分野																	
		学問分野別科目 自然科学分野																	
		初修外国語		初級ドイツ語Ⅰ 初級フランス語Ⅰ 初級中国語Ⅰ 初級朝鮮語Ⅰ	(1)	初級ドイツ語Ⅱ 初級フランス語Ⅱ 初級中国語Ⅱ 初級朝鮮語Ⅱ	(1)	初級ドイツ語Ⅲ 初級フランス語Ⅲ 初級中国語Ⅲ 初級朝鮮語Ⅲ	(1)	初級ドイツ語Ⅳ 初級フランス語Ⅳ 初級中国語Ⅳ 初級朝鮮語Ⅳ	(1)								
		高年次教養科目 文系主題科目										文系主題科目 文系主題科目			(1) (2)	文系主題科目 文系主題科目			(1) (2)
		高年次教養科目 理系主題科目										理系主題科目 理系主題科目			(1) (2)	理系主題科目 理系主題科目			(1) (2)
		教員免許に関する科目 スポーツと教育																	
		教員免許に関する科目 教職日本国憲法																	
	発展科目																		

履修にあたっての注意点

＊「初修外国語」を履修する場合は、前学期についてはⅠとⅡ、後学期については前学期と同じ言語のⅢとⅣをセットで履修してください。
＊教養科目のうち主題探究型科目２単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語及び高年次教養科目から取得してください。
＊修得した発展科目の単位は卒業要件には含みません。

履修単位表

理学部

科目区分			学科	理学科
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA		2単位
		新入生セミナーB		2単位
		こころと健康		2単位
		スポーツ		1単位
		小計		**7単位**
	基礎科目	英語		4単位
		数学		微積分　2単位
		社会力入門		1単位
		情報リテラシー入門		2単位
		知的財産入門		1単位
		小計		**10単位**
	未来思考支援科目	Beyond SDGs		1単位
		未来思考リテラシー		1単位
		小計		**2単位**
	教養科目	主題探究型科目		2単位
		学問分野別科目	総合分野	12単位
			人文学分野	
			社会科学分野	
			自然科学分野	
		初修外国語		
		高年次教養科目	文系主題科目	
			理系主題科目	
		教員免許に関する科目	スポーツと教育	
			教職日本国憲法	
		小計		**14単位**
	発展科目			
	計			**33単位**
専門教育科目	専門科目			91単位
合計				**124単位**

(注)・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。
・教養科目のうち主題探究型科目２単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

授業科目の区分等			最低履修単位	1年次								2年次							
				前学期				後学期				前学期				後学期			
				第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター		第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター	
				授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2	新入生セミナーA			2												
		新入生セミナーB	2					新入生セミナーB	2										
		こころと健康	2	こころと健康			2												
		スポーツ	1	スポーツ			1												
	基礎科目	英語	4	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1	英語Ⅲ	1	英語Ⅳ	1								
		数学	2			微積分	2												
		社会力入門	1							社会力入門	1								
		情報リテラシー入門	2	情報リテラシー入門Ⅰ	1	情報リテラシー入門Ⅱ	1												
		知的財産入門	1					知的財産入門	1										
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1															Beyond SDGs	1
		未来思考リテラシー	1													未来思考リテラシー	1		
	教養科目	主題探究型科目	2					月2科目帯【1～115】	1	月2科目帯【116～】	1	金2科目帯【1～115】	1	金2科目帯【116～】	1				
		学問分野別科目 総合分野	12	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(2)				
		学問分野別科目 人文学分野																	
		学問分野別科目 社会科学分野																	
		学問分野別科目 自然科学分野																	
		初修外国語		初級ドイツ語Ⅰ 初級フランス語Ⅰ 初級中国語Ⅰ 初級朝鮮語Ⅰ	(1)	初級ドイツ語Ⅱ 初級フランス語Ⅱ 初級中国語Ⅱ 初級朝鮮語Ⅱ	(1)	初級ドイツ語Ⅲ 初級フランス語Ⅲ 初級中国語Ⅲ 初級朝鮮語Ⅲ	(1)	初級ドイツ語Ⅳ 初級フランス語Ⅳ 初級中国語Ⅳ 初級朝鮮語Ⅳ	(1)								
		高年次教養科目 文系主題科目										文系主題科目 文系主題科目	(1) (2)			文系主題科目 文系主題科目			(1) (2)
		高年次教養科目 理系主題科目										理系主題科目 理系主題科目	(1) (2)			理系主題科目 理系主題科目			(1) (2)
		教員免許に関する科目 スポーツと教育														スポーツと教育			(1)
		教員免許に関する科目 教職日本国憲法														教職日本国憲法			(2)
	発展科目																		

履修にあたっての注意点

＊教養科目のうち主題探究型科目２単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得してください。
＊学問分野別科目については、人文学分野・社会科学分野を含めて履修し、特定の専門分野に偏ることがないようにバランス良く履修することを推奨します。
＊「初修外国語」を履修する場合は、前学期についてはⅠとⅡ、後学期については前学期と同じ言語のⅢとⅣをセットで履修してください。
＊修得した発展科目の単位は卒業要件には含みません。
＊【　】内の数字は、学生証番号の中の個人番号を記載しています。

履修単位表

医学部

科目区分			学科	医学科	看護学科
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA		2単位	
		新入生セミナーB		2単位	
		こころと健康		2単位	
		スポーツ		1単位	
		小計		**7単位**	
	基礎科目	英語		4単位	
		社会力入門		1単位	
		情報リテラシー入門		2単位	
		知的財産入門		1単位	
		小計		**8単位**	
	未来思考支援科目	Beyond SDGs		1単位	
		未来思考リテラシー		1単位	
		小計		**2単位**	
	教養科目	主題探究型科目		2単位	2単位
		学問分野別科目	総合分野	12単位	12単位
			人文学分野		
			社会科学分野		
			自然科学分野		
		初修外国語			
		高年次教養科目	文系主題科目		
			理系主題科目		
		教員免許に関する科目	スポーツと教育		
			教職日本国憲法		
		小計		**14単位**	**14単位**
	発展科目				
	計			**31単位**	**31単位**
専門教育科目	専門基礎科目			18単位	20単位
	専門科目			153単位	73単位
合計				**202単位**	**124単位**

(注)・看護学科で養護教諭一種免許状の取得希望者は、教員免許に関する科目「教職日本国憲法」と「スポーツと教育」を履修すること（保健師免許状を取得後、養護教諭二種免許状の取得を希望する場合も同様）。

・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。

・教養科目のうち主題探究型科目２単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

医学部　医学科

授業科目の区分等			最低履修単位	1年次								2年次								3年次	
				前学期				後学期				前学期				後学期					
				第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター		第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター			
				授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2	新入生セミナーA			2														
		新入生セミナーB	2	新入生セミナーB			2														
		こころと健康	2	こころと健康　※重信開講			2														
		スポーツ	1	スポーツ			1														
	基礎科目	英語	4	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1	英語Ⅲ	1	英語Ⅳ	1										
		社会力入門	1							社会力入門	1										
		情報リテラシー入門	2	情報リテラシー入門Ⅰ	1	情報リテラシー入門Ⅱ	1														
		知的財産入門	1					知的財産入門 ※重信開講	1												
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1																	Beyond SDGs	1
		未来思考リテラシー	1																	未来思考リテラシー	1
	教養科目	主題探究型科目	2					月2科目帯	1	月2科目帯	1										
		学問分野別科目 総合分野	12	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(2)									学問分野別科目 学問分野別科目 学問分野別科目 学問分野別科目 ※重信開講 (5年次)	1 1 1 1
		学問分野別科目 人文学分野																			
		学問分野別科目 社会科学分野																			
		学問分野別科目 自然科学分野																			
		初修外国語		初級ドイツ語Ⅰ 初級フランス語Ⅰ 初級中国語Ⅰ 初級朝鮮語Ⅰ	(1)	初級ドイツ語Ⅱ 初級フランス語Ⅱ 初級中国語Ⅱ 初級朝鮮語Ⅱ	(1)	初級ドイツ語Ⅲ 初級フランス語Ⅲ 初級中国語Ⅲ 初級朝鮮語Ⅲ	(1)	初級ドイツ語Ⅳ 初級フランス語Ⅳ 初級中国語Ⅳ 初級朝鮮語Ⅳ	(1)										
		高年次教養科目 文系主題科目										文系主題科目 文系主題科目			(1) (2)	文系主題科目 文系主題科目			(1) (2)		
		高年次教養科目 理系主題科目										理系主題科目 理系主題科目			(1) (2)	理系主題科目 理系主題科目			(1) (2)		
		教員免許に関する科目 スポーツと教育																			
		教員免許に関する科目 教職日本国憲法																			
発展科目																					

履修にあたっての注意点

＊専門分野以外の科目を広く履修することを推奨します。
＊学問分野別科目については、人文学分野及び社会科学分野を含めて履修することを推奨します。
＊「初修外国語」を履修する場合は、前学期についてはⅠとⅡ、後学期については前学期と同じ言語のⅢとⅣをセットで履修してください。
＊教養科目のうち主題探究型科目２単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語及び高年次教養科目から取得してください。なお、重信キャンパスで開講される科目は必ず履修してください。
＊修得した発展科目の単位は卒業要件には含みません。

教育課程表

医学部　看護学科

授業科目の区分等			最低履修単位	1年次								2年次								3年次	
				前学期				後学期				前学期				後学期					
				第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター		第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター			
				授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2	新入生セミナーA			2														
		新入生セミナーB	2	新入生セミナーB			2														
		こころと健康	2	こころと健康　※重信開講			2														
		スポーツ	1	スポーツ			1														
	基礎科目	英語	4	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1	英語Ⅲ	1	英語Ⅳ	1										
		社会力入門	1							社会力入門	1										
		情報リテラシー入門	2	情報リテラシー入門Ⅰ	1	情報リテラシー入門Ⅱ	1														
		知的財産入門	1					知的財産入門 ※重信開講	1												
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1																	Beyond SDGs	1
		未来思考リテラシー	1																	未来思考リテラシー	1
	教養科目	主題探究型科目	2					月2科目帯	1	月2科目帯	1										
		学問分野別科目 総合分野	12	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯 学問分野別科目 ※重信開講	(3) 1	月～金曜科目帯 学問分野別科目 ※重信開講	(3) 1										
		学問分野別科目 人文学分野																			
		学問分野別科目 社会科学分野																			
		学問分野別科目 自然科学分野																			
		初修外国語		初級ドイツ語Ⅰ 初級フランス語Ⅰ 初級中国語Ⅰ 初級朝鮮語Ⅰ	(1)	初級ドイツ語Ⅱ 初級フランス語Ⅱ 初級中国語Ⅱ 初級朝鮮語Ⅱ	(1)	初級ドイツ語Ⅲ 初級フランス語Ⅲ 初級中国語Ⅲ 初級朝鮮語Ⅲ	(1)	初級ドイツ語Ⅳ 初級フランス語Ⅳ 初級中国語Ⅳ 初級朝鮮語Ⅳ	(1)										
		高年次教養科目 文系主題科目										文系主題科目 文系主題科目	(1) (2)			文系主題科目 文系主題科目			(1) (2)		
		高年次教養科目 理系主題科目										理系主題科目 理系主題科目	(1) (2)			理系主題科目 理系主題科目			(1) (2)		
		教員免許に関する科目 スポーツと教育						スポーツと教育			(1)										
		教員免許に関する科目 教職日本国憲法						教職日本国憲法			(2)										
発展科目																					

履修にあたっての注意点

＊学問分野別科目については、人文学分野及び社会科学分野を含めて履修することを推奨します。

＊「初修外国語」を履修する場合は、前学期についてはⅠとⅡ、後学期については前学期と同じ言語のⅢとⅣをセットで履修してください。

＊教養科目のうち主題探究型科目２単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得してください。なお、重信キャンパスで開講される科目は必ず履修してください。

＊養護教諭一種免許状の取得希望者は、教員免許に関する科目「教職日本国憲法」と「スポーツと教育」を必ず履修してください。（保健師免許状を取得後、養護教諭二種免許状の取得を希望する場合も同様です。）

＊修得した発展科目の単位は卒業要件には含みません。

履修単位表

工学部

科目区分 ＼ 学科			工学科
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2単位
		新入生セミナーB	2単位
		こころと健康	2単位
		スポーツ	1単位
		小計	**7単位**
	基礎科目	英語	4単位
		数学	線形代数Ⅰ　2単位 線形代数Ⅱ　2単位 微積分Ⅰ　4単位 微積分Ⅱ　2単位
		社会力入門	1単位
		情報リテラシー入門	2単位
		知的財産入門	1単位
		小計	**18単位**
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1単位
		未来思考リテラシー	1単位
		小計	**2単位**
	教養科目	主題探究型科目	2単位
		学問分野別科目：総合分野	12単位
		学問分野別科目：人文学分野	
		学問分野別科目：社会科学分野	
		学問分野別科目：自然科学分野	
		初修外国語	
		高年次教養科目：文系主題科目	
		高年次教養科目：理系主題科目	
		教員免許に関する科目：スポーツと教育	
		教員免許に関する科目：教職日本国憲法	
		小計	**14単位**
	発展科目		
	計		**41単位**
専門教育科目	工学共通基礎科目		16単位
	専門入門科目		10単位
	専門基礎科目・専門応用科目		57単位
合計			**124単位**

(注)・学問分野別科目の「工学入門」及び「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。
・教養科目のうち主題探究型科目２単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

工学部

授業科目の区分等			最低履修単位	1年次								2年次								3年次							
				前学期				後学期				前学期				後学期				前学期				後学期			
				第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター		第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター		第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター	
				授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2	新入生セミナーA		2																					
		新入生セミナーB	2	新入生セミナーB		2																					
		こころと健康	2	こころと健康		2																					
		スポーツ	1	スポーツ		1																					
	基礎科目	英語	4	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1	英語Ⅲ	1	英語Ⅳ	1																
		数学	10	微積分Ⅰ		4		微積分Ⅱ			2																
				線形代数Ⅰ		2		線形代数Ⅱ			2																
		社会力入門	1							社会力入門	1																
		情報リテラシー入門	2	情報リテラシー入門Ⅰ	1	情報リテラシー入門Ⅱ	1																				
		知的財産入門	1					知的財産入門	1																		
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1													Beyond SDGs	1										
		未来思考リテラシー	1															未来思考リテラシー	1								
	教養科目	主題探究型科目	2													木2科目帯【1～250】	1	木2科目帯【251～】	1	火2科目帯【1～250】	1	火2科目帯【251～】	1				
		学問分野別科目 総合分野	12									月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(3)	月～金曜科目帯	(3)	月～金曜科目帯	(1)	月～金曜科目帯	(1)				
		人文学分野																									
		社会科学分野																									
		自然科学分野																									
		初修外国語																		初級ドイツ語Ⅰ 初級フランス語Ⅰ 初級中国語Ⅰ 初級朝鮮語Ⅰ	(1)	初級ドイツ語Ⅱ 初級フランス語Ⅱ 初級中国語Ⅱ 初級朝鮮語Ⅱ	(1)	初級ドイツ語Ⅲ 初級フランス語Ⅲ 初級中国語Ⅲ 初級朝鮮語Ⅲ	(1)	初級ドイツ語Ⅳ 初級フランス語Ⅳ 初級中国語Ⅳ 初級朝鮮語Ⅳ	(1)
		高年次教養科目 文系主題科目										文系主題科目 文系主題科目	(1) (2)			文系主題科目 文系主題科目	(1) (2)										
		理系主題科目										理系主題科目 理系主題科目	(1) (2)			理系主題科目 理系主題科目	(1) (2)										
		教員免許に関する科目 スポーツと教育														スポーツと教育	(1)										
		教職日本国憲法														教職日本国憲法	(2)										
	発展科目																										

履修にあたっての注意点

＊学問分野別科目の「工学入門」及び発展科目の単位は、卒業要件に算入されません。
＊教養科目のうち主題探究型科目２単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得してください。
＊「初修外国語」を履修する場合は、前学期についてはⅠとⅡ、後学期については前学期と同じ言語のⅢとⅣをセットで履修してください。
＊学問分野別科目については、人文学分野及び社会科学分野を含めて履修することを推奨します。
＊【　】内の数字は、学生証番号の中の個人番号を記載しています。

履修単位表

農学部

科目区分 ＼ 学科			食料生産学科	生命機能学科	生物環境学科
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2単位		
		新入生セミナーB	2単位		
		こころと健康	2単位		
		スポーツ	1単位		
		小計	**7単位**		
	基礎科目	英語	4単位		
		数学	解析学入門　2単位		
		社会力入門	1単位		
		情報リテラシー入門	2単位		
		知的財産入門	1単位		
		小計	**10単位**		
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1単位		
		未来思考リテラシー	1単位		
		小計	**2単位**		
	教養科目	主題探究型科目	2単位		
		学問分野別科目	総合分野	12単位	
			人文学分野		
			社会科学分野		
			自然科学分野		
		初修外国語			
		高年次教養科目	文系主題科目		
			理系主題科目		
		教員免許に関する科目	スポーツと教育		
			教職日本国憲法		
		小計	**14単位**		
	発展科目				
	計		**33単位**		
専門教育科目	専門科目		96単位		
合計			**129単位**		

(注)・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。
・教養科目のうち主題探究型科目２単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

教育課程表

農学部

授業科目の区分等			最低履修単位	1年次								2年次							
				前学期				後学期				前学期				後学期			
				第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター		第1クォーター		第2クォーター		第3クォーター		第4クォーター	
				授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2	新入生セミナーA	2														
		新入生セミナーB	2			新入生セミナーB	2												
		こころと健康	2	こころと健康			2												
		スポーツ	1	スポーツ			1												
	基礎科目	英語	4	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1	英語Ⅲ	1	英語Ⅳ	1								
		数学	2	解析学入門			2												
		社会力入門	1							社会力入門	1								
		情報リテラシー入門	2	情報リテラシー入門Ⅰ	1	情報リテラシー入門Ⅱ	1												
		知的財産入門	1					知的財産入門	1										
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1															Beyond SDGs	1
		未来思考リテラシー	1													未来思考リテラシー	1		
	教養科目	主題探究型科目	2					木2科目帯【食料生産】	1	木2科目帯【生命機能・生物環境】	1	金2科目帯【食料生産】	1	金2科目帯【生命機能・生物環境】	1				
		学問分野別科目 総合分野	12	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(2)	月～金曜科目帯	(3)	月～金曜科目帯	(3)	月～金曜科目帯	(1)	月～金曜科目帯	(1)				
		学問分野別科目 人文学分野																	
		学問分野別科目 社会科学分野																	
		学問分野別科目 自然科学分野																	
		初修外国語		初級ドイツ語Ⅰ 初級フランス語Ⅰ 初級中国語Ⅰ 初級朝鮮語Ⅰ	(1)	初級ドイツ語Ⅱ 初級フランス語Ⅱ 初級中国語Ⅱ 初級朝鮮語Ⅱ	(1)	初級ドイツ語Ⅲ 初級フランス語Ⅲ 初級中国語Ⅲ 初級朝鮮語Ⅲ	(1)	初級ドイツ語Ⅳ 初級フランス語Ⅳ 初級中国語Ⅳ 初級朝鮮語Ⅳ	(1)								
		高年次教養科目 文系主題科目										文系主題科目 文系主題科目	(1) (2)			文系主題科目 文系主題科目			(1) (2)
		高年次教養科目 理系主題科目										理系主題科目 理系主題科目	(1) (2)			理系主題科目 理系主題科目			(1) (2)
		教員免許に関する科目 スポーツと教育						スポーツと教育			(1)								
		教員免許に関する科目 教職日本国憲法						教職日本国憲法			(2)								
発展科目																			

履修にあたっての注意点

＊学問分野別科目については、人文学分野及び社会科学分野を含めて履修することを推奨します。
＊農学部では「初修外国語」の履修を勧めています。英語以外の外国語を学ぶことは、考え方や視野を広げるためにとても重要です。
＊「初修外国語」を履修する場合は、前学期についてはⅠとⅡ、後学期については前学期と同じ言語のⅢとⅣをセットで履修してください。
＊教養科目のうち主題探究型科目２単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得してください。
＊修得した発展科目の単位は卒業要件には含みません。

Ⅶ. 履修登録手続等

共通教育科目を履修するためには、履修しなければならない科目、履修したい科目を登録することが必要です。履修登録は、各学期の履修登録期間に、修学支援システムから行ってください。履修に際しては、様々なルールがあります。以下の説明をよく読んで各自の責任で学習目的に沿った授業科目を選択してください。

1　履修登録の方法

履修登録は各自が修学支援システムで行います。
■ＵＲＬ　https://info.ehime-u.ac.jp/syugaku/stu/
※愛媛大学ホームページからのアクセス方法
愛媛大学ホームページ＞大学生活＞履修について＞修学支援システム
修学支援システムトップページには「修学支援システム利用のてびき」が掲載されています。

2　履修登録の時期

履修登録は、毎学期行います。履修登録の時期は、修学支援システム及び掲示等でお知らせします。

3　履修登録の手順

(1) 共通教育科目の履修登録に必要なものを確認します。
●Webシステム用のアカウント及びパスワード（入学時に大学から配付）
●共通教育履修案内
●共通教育科目授業時間割表
(共通教育センターホームページに掲載・法文学部夜間主コースは法文学部授業時間割表)
■ＵＲＬ　http://web.iec.ehime-u.ac.jp/student.html
●その他【英語科目クラス分け一覧】【初修外国語一覧】

(2) 時間割表で所属する学部・学科等の指定された科目を確認します。
※「シラバス」を熟読し（P40参照）、履修する科目を選択してください。

(3) パソコンから修学支援システムにアクセスし、選択した科目を登録します。
※履修のルール（P41参照）にしたがって登録してください。

(4) 定員を超過した「主題探究型科目」、「学問分野別科目」、「初修外国語」、「高年次教養科目」については修学支援システムの抽選機能を用いて抽選が行われます。必ず抽選結果を確認し、抽選漏れした場合は履修登録修正期間中に他の科目を登録してください。

4　時間割表の見方

共通教育科目授業時間割表は、共通教育センターホームページで閲覧することができます。
■ＵＲＬ　http://web.iec.ehime-u.ac.jp/img/student/jikanwari.pdf

（１）共通教育科目授業時間割表の見方

共通教育科目授業時間割表は、「教育課程表」に対応しています。

曜日	時限		法文	教育	社会共創	理	医	看護
月	1	1Q				情報リテラシー入門Ⅰ		
		2Q				情報リテラシー入門Ⅱ (1～115) (116～)		
	2	1Q		解析学入門	英語Ⅰ		英語Ⅰ	英語Ⅰ
		2Q			英語Ⅱ		英語Ⅱ	英語Ⅱ
	3	1Q		線形代数			スポーツ	
		2Q						
	4	1Q				数学入門 (微積分入門)		
		2Q						

1

2

10302
線形代数Ⅰ
庭崎　隆
(1～75)

1　学生証番号

（　）内の数字は、学生証番号の中の個人番号を表します。

学生証番号とは学生個人を表す番号で、学生証に８桁で表されています。出席カード、レポート、試験の答案など、重要な書類の提出の際に必要となりますので、学生証は常に携行し、学生証番号も間違いのないように記憶しておいてください。

学生証番号の構成は次のとおりです。

【法文学部人文社会学科昼間主１番の学生の場合】

入学年度（西暦下１桁）	学部コード（１桁）	学科・課程コード（２桁）		個人番号（３桁）			チェックデジット（アルファベット１字）
3	1	1	1	0	0	1	A

【学部、学科・課程コード表】

学　部	学部コード	学科・課程	学科・課程コード	学　部	学部コード	学科・課程	学科・課程コード
法文学部（昼間主）	1	人文社会学科	１１	理学部	3	理学科	２０
法文学部（夜間主）	1	人文社会学科	５１	医学部	4	医学科	０１
						看護学科	０６
教育学部	2	学校教育教員養成課程	３０	工学部	5	工学科	２０
社会共創学部	0	産業マネジメント学科	０１	農学部	6	食料生産学科	１１
		産業イノベーション学科	０２			生命機能学科	１２
		環境デザイン学科	０３			生物環境学科	１３
		地域資源マネジメント学科	０４				

2　科目番号

５桁の英数字が科目番号です。履修登録する際に使用します。

（2）法文学部授業時間割表の見方（法文学部夜間主コースのみ該当）

法文学部授業時間割表は、「教育課程表」に対応しています。

共通教育科目（夜間主コース）

【前期】

区分		時間割番号	授業科目	担当教員	単位数	受講生区分	曜日	時限	教室	備考
初年次科目	こころと健康	10151	こころと健康	野本　ひさ	2	1	火	7		
	スポーツ	10171	スポーツ	市河　勉	1	1	月	7		
		10172	スポーツ	中川　雅智	1	1	月	7		

【1Q】

区分			時間割番号	授業科目	担当教員	単位数	受講生区分	曜日	時限	教室	備考
基礎科目	英語		A0260	英語Ⅰ	ワタナベ　ジェーン	1	1	火木	6	M31	
			A0261	英語Ⅰ	ブラック　レスリー	1	1	火木	6	M23	
			A0262	英語Ⅰ	カドタ　シルバルー	1	1	火木	6	M22	
			A0274	英語Ⅰ	三浦　優生	1	2	火木	6	M33	再履修用
	情報リテラシー入門		A0359	情報リテラシー入門Ⅰ	佐々木　隆志	1	1	金	7		
	愛媛学		A0381	愛媛学	秋丸　國廣	1	3	集中			再履修用（2016～2021入学生）
教養科目	主題探究型科目		A0421	社会のしくみを考える	松村　暢彦	1	2	水	7		
			A0433	自然のしくみ	上谷　浩一	1	2	水	7	共B304	
			A0441	生命の不思議	高田　裕美	1	2	水	7	共B403	
	初修外国語		A0603	初級ドイツ語Ⅰ	田島　篤史、伊藤　亮平	1	1	水金	6	M23	
			A0613	初級フランス語Ⅰ	モヴェ　エリック、田和　勇希	1	1	水金	6	E41	
			A0626	初級中国語Ⅰ	宮田　さつき、陳 暁華	1	1	水金	6	M32	
			A0635	初級朝鮮語Ⅰ	崔　昌玉	1	1	水金	6	M24	
	学問分野別科目	総合分野	A0506	環境学入門	山下　浩	1	1	火			
			A0501	環境学入門	石橋　弘志	1	1	水			
			A0512	人間科学入門	柴田　論	1	1	木			
			A0514	生活科学入門	金子　省子	1	1	月			
			A0517	生活科学入門	都築　伸二	1	1	金			
		社会科学分野	A0541	経済学入門	川口　和仁	1	1	土			
			A0542	社会学入門	山本　和博	1	1	月			
			A0544	社会学入門	秋丸　國廣	1	1	木			
		自然科学分野	A0547	数学入門	平野　幹	1	1	木			
			A0554	物理学入門	尾崎　良太郎	1	1	月			
			A0560	化学入門	小原　敬士	1	1	火			
			A0564	生物学入門	畑　啓生	1	1	水			
			A0566	生物学入門	枝重　有祐	1	1	水			
			A0571	地学入門	鍔本　武久	1	1	木			
			A0572	工学入門	全　現九	1	1	金			
			A0573	農学入門	関藤　孝之	1	1	金			

1 時間割番号

５桁の英数字が時間割番号（科目番号）です。履修登録する際に使用します。

2 受講生区分

受講できる学年を表示しています。

3 教室

対面で実施する授業の教室を省略した名称で表示しています。

5　シラバスの見方

シラバスは修学支援システムの「シラバス検索」メニューで閲覧することができます。
※愛媛大学ホームページからのアクセス方法
　愛媛大学ホームページ＞大学生活＞履修について＞シラバス検索

開講年度	開講年度を記載しています。	開講学期	開講学期を記載しています。
開講学部等	開講学部等を記載しています。	授業科目区分	授業科目区分名を記載しています。
科目ナンバリング	科目ナンバリング（P11参照）を記載しています。	時間割番号	科目番号を記載しています。
定員	定員を記載しています。	曜日・時限	曜日・時限を記載しています。
対象学生	受講対象の学部、学科、コース、学年等を記載しています。	対象年次	受講対象の年次を記載しています。
科目名［英文名］	授業科目名を記載しています。	単位数	単位数を記載しています。
担当教員［ローマ字表記］	授業を担当する教員名を記載しています。		

授業題目
　授業の題目を記載しています。

授業のキーワード
　授業の中で必要と思われる単語等を記載しています。

授業の目的
　授業を受講することによって修得できる学習成果を、目的として記載しています。

授業の到達目標
　授業を学んだ結果、何ができるようになるかを到達目標として記載しています。

ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）／共通教育の理念・教育方針に関わる項目
　共通教育の理念と教育方針の項目のうち、授業の到達目標に対応する項目を記載しています。

愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）に関わる項目
　愛大学生コンピテンシー（P6参照）の項目のうち、期待される能力に対応する項目を記載しています。

授業概要
　授業のおおまかな内容及び授業形態（対面及び遠隔等）を記載しています。

授業スケジュール
　各回の授業で扱う授業内容を記載しています。

授業時間外学習にかかわる情報
　授業時間外の予習、復習や課題について記載しています。

成績評価方法
　評価の基準及び方法、試験の実施方法を記載しています。

受講条件
　受講の前提として、履修する必要がある科目や学習しておいた方が望ましい内容を記載しています。

受講のルール
　資料配付及び課題提出のルール、受講上の注意事項等を記載しています。

教科書（購入の必要のある図書）
　授業や授業時間外学習で使用する、購入する必要のある図書を記載しています。

参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）
　授業や授業時間外学習の参考になる図書を記載しています。

教科書・参考書に関する補足情報
　教科書、参考書の使用方法、教科書を使わない場合の教材情報、その他学習に役立つ資料の情報を記載しています。

オフィスアワー
　担当教員が授業科目に関する質問・相談等に応じている時間帯を記載しています。

Ｅメールアドレス
　担当教員のＥメールアドレスを記載しています。

連絡先
　担当教員の研究室や連絡先を記載しています。

参照ホームページ
　学習に効果的な情報、担当教員・研究室等に関する情報が掲載されているホームページのURLを記載しています。

その他
　受講に対するメッセージや注意事項等を記載しています。

実務経験のある教員による授業科目
　担当教員の実務経験について、記載しています。

6　履修のルール

（1）履修上の注意事項

①　重複履修の禁止

一度履修して単位を修得した授業科目を、再度履修することはできません。ただし、一部の授業科目では、重複履修が認められています。詳細は、「Ⅴ．共通教育授業科目表」（P15 ～ 19）の「重複履修」の記号で確認してください。

②　夜間開講科目の履修禁止

法文学部夜間主コース以外の学生は、夜間開講の共通教育授業科目を履修することはできません。なお、６時限目に開講される初修外国語はこの限りではありません。

③　法文学部夜間主コースの昼間開講科目履修のルール

夜間主コースの学生は、共通教育授業科目のうち、以下の昼間開講科目を履修することができます。

a．教養科目

1）履修できるのは、**卒業までに８単位を上限とします（集中講義で開講される科目も含む）。**

（ただし、学問分野別科目及び知プラｅ科目は、上記の単位制限に含まれません。）

2）修得した単位は、次のとおり取り扱います。

ⅰ）教養科目のそれぞれの科目区分、又は「自由選択」の卒業要件単位に充てることができます。

ⅱ）修得した単位を教養科目の卒業要件に充てる場合は、法文学部の履修のルールにある「卒業要件単位として認められる昼間開講の30単位」には含まれません。

ⅲ）修得した単位を「自由選択」の卒業要件に充てる場合は、法文学部の履修のルールにある「卒業要件単位として認められる昼間開講の30単位」に含まれます。

b．発展科目

履修できる単位数に制限はありません。ただし、修得した単位は、卒業要件単位として認められません。

（2）初年次科目

①　「新入生セミナーA」及び「新入生セミナーB」

各学部で実施されるため、共通教育科目授業時間割表には記載されていません。各学部の専門教育の授業時間割表に記載されていますので、確認の上、履修登録をしてください。

②　スポーツ

必修科目として、１年次に開講します。

基礎的体力づくりとともに、クラス別に「ソフトバレーボール、サッカー、ダンス、テニス、バドミントン」等の種目が開講されます。

（3）基礎科目

①　英　語

授業科目名	単位数	開講	授業科目の概要
英語Ⅰ	1	第１ クォーター	主としてスピーキング力養成のための授業です。自分の考えを英語で明瞭かつ簡潔に表現し、会話や議論に積極的に参加できるようになることを目指します。
英語Ⅱ	1	第２ クォーター	主としてリスニング力養成のための授業です。英語の音声上の特徴を理解して、様々な目的に応じた聞き取りができるようになることを目指します。
英語Ⅲ	1	第３ クォーター	主としてライティング力養成のための授業です。英語のパラグラフを書くための基本を身に付け、様々なテーマについて自分の意見を論理的に書けるようになることを目指します。
英語Ⅳ	1	第４ クォーター	主としてリーディング力養成のための授業です。英語を素早く、かつ正確に読むための基本的な技能を身に付け、様々な目的に応じた読み取りができるようになることを目指します。

1）　それぞれの科目は受講できるクラスが指定されていますので、「修学支援システム」または「掲示」で確認してから履修してください。

2）　第１クォーターと第４クォーターに、英語統一試験（GTEC Academic）を実施しますので、必ず受験してください。第４クォーターの試験の成績は、「英語Ⅳ」の成績評価に含まれます。また、280点以上のスコアを取得した場合は、外部試験による成績判定を申請することができます。

3）「英語」の授業は出席についてのルールが特に厳しく決められています。

・毎回出席することを原則とします。　欠席についての詳細は、必ずシラバスで確認してください。

・原則として遅刻は認めません。　３回遅刻→１回の欠席、30分以上遅刻→１回の欠席

外部試験による成績判定制度

外部試験による成績（資格）が基準に達している場合は、成績判定を申請することができます。（下表を参照してください。）成績判定を希望する場合は、学期開始前に所定の手続を行う必要があります。学期途中での申請はできません。手続方法は「共通教育英語関係掲示板及び英語教育センター事務室前の掲示板（愛大ミューズ２階）」に掲示でお知らせします。

【外部試験の成績等基準及び判定科目】

対象外部試験の成績等基準		判　　定		
成績レベル	成績等	最大判定単位数	判定科目	成績評価
Ⅰ	GTEC Academic 280 ～ 309点	１単位	**英語Ⅱ**（１年次第２クォーター） 又は **英語Ⅳ**（１年次第４クォーター）	80点 （優）
	TOEIC L&R 470 ～ 599点			
	TOEFL 460 ～ 504点			
	TOEFL ibt 48 ～ 61点			
Ⅱ	GTEC Academic 310点以上	２単位	**英語Ⅱ**（１年次第２クォーター） **英語Ⅳ**（１年次第４クォーター）	90点 （秀）
	TOEIC L&R 600点以上			
	TOEFL 505点以上			
	TOEFL ibt 62点以上			
	英検準１級以上			

備考：＊外部試験とは次のとおりです。
GTEC Academic：GTEC Academic ２技能(L・R)（自宅でのオンライン受験は適用外）
TOEIC L&R：Test of English for International Communication Listening & Reading Test
（IPテスト、IPテスト（オンライン）は適用外）
TOEFL：Test of English as a Foreign Language（成績はペーパー版テスト）
TOEFL ibt：同上のインターネット版テスト
英　　検：実用英語技能検定試験

令和５年度の成績判定申請期間は、下記のとおりです。

「英語Ⅱ」及び「英語Ⅳ」についての申請：４月３日(月) ～４月７日(金)　９：00 －17：00
「英語Ⅳ」についての申請：７月24日(月) ～７月28日(金)　９：00 －17：00
受付場所：英語教育センター事務室（愛大ミューズ２階）

②　数　学

理系の学部・学科・コース等での専門教育を学ぶために必要とされる数学の科目が開講されます。

同じ授業科目名でも自分が所属する学部・学科・コース等以外の授業科目を履修することはできません。

（4）教養科目

教育上の効果や円滑な授業運営を図るため、受講生数の上限を原則として主題探究型科目と初修外国語は数十人程度、学問分野別科目は100 ～ 200人程度としています。また、高年次教養科目の一部にも受講生数に制限のある科目があります。履修登録者数が上限を超えた場合、修学支援システムの抽選機能を用いて抽選が行われます。必ず抽選結果を確認し、抽選漏れした場合は履修登録修正期間中に他の科目を再登録してください。

①　主題探究型科目

1）　１年次の後学期（第３クォーター・第４クォーター）及び２年次の前学期（第１クォーター・第２クォーター）に開講されます。（医学部は１年次後学期のみ、工学部は２年次の後学期及び３年次の前学期に開講されます。）曜日時限により、対象学部及び学年が指定されていますので、それぞれ決められた科目帯の中から履修登録してください。

2）　２年次（工学部は３年次）第３クォーター以降は科目帯に制限なく自由に履修できます。

3）　科目名が同じでも担当教員が異なれば重複履修ができます。

②　学問分野別科目

1）「総合分野」・「人文学分野」・「社会科学分野」・「自然科学分野」に関連する授業科目が開講されます。

１年次の前・後学期（第１クォーター～第４クォーター）及び２年次の前学期（第１クォーター・第２クォーター）に開講されます。（医学部は１年次前・後学期、工学部は２年次の前・後学期及び３年次の前学期に開講されます。）学部ごとに指定された月曜日から金曜日開講の科目群の中から履修登録してください。

なお、学習時間の確保のため、２年次（工学部は３年次）前学期までは、クォーターごとに履修できる科目の単位数に上限があります。所属学部の教育課程表（P22 ～ 36）に記された（　）内の単位数が上限となりますので確認してください。また、各クォーターで履修できるのは原則として各曜日１単位までです。

2）　２年次（工学部は３年次）第３クォーター以降は科目群及び単位数に制限なく自由に履修できます（土曜日開講の科目は法文学部夜間主コースのみ履修可能）。

3）　科目名が同じでも担当教員が異なれば重複履修ができます。

4）　数学の補完教育（リメディアル教育）として、教育学部（数学教育専攻）、工学部、農学部を対象に学問分野別科目「数学入門」（授業題目「初級微積分」）を開講します。「数学力テスト」の結果等により受講対象者となった学生は履修してください。

なお、理学部対象にも「数学入門」（授業題目「微積分入門」）を開講します。理学部は任意に当該科目を履修できます。

③　初修外国語

1）　初修外国語は、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「朝鮮語」の言語ごとに、第１クォーターから第４クォーターまで、それぞれⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ（例.「初級ドイツ語Ⅰ」～「初級ドイツ語Ⅳ」）の授業科目が、毎週２回ずつ開講され、１年次（工学部は３年次）から履修できます。

2）　初修外国語は、同一言語を前学期・後学期と継続して受講することを前提に、１年間通して開講されます。前学期（第1クォーター・第2クォーター）についてはⅠとⅡの授業科目を、後学期（第3クォーター・第4クォーター）についてはⅢとⅣの授業科目をセットで履修してください。

3）　初修外国語に含まれるいずれかの言語を母語とする者は、当該外国語を履修することができません。

④　高年次教養科目

２年次以降に履修できます。

⑤　教員免許に関する科目

教育職員免許状の取得を希望する学生以外は履修できません。教育免許に関する科目の履修条件は次のとおりです。

【法文学部・理学部・医学部看護学科・工学部・農学部】

「教職日本国憲法」の履修条件

①「教職履修ガイダンス」に出席していること
②「教職基礎論」を修得済み（農学部１回生は履修中）であること

「スポーツと教育」の履修条件

①「教職履修ガイダンス」に出席していること
②「教職基礎論」を修得済み（農学部１回生は履修中）であること
③「スポーツ」を修得済みであること

（注）
※工学部で「工業」の高等学校教諭一種免許状の取得を希望する者、及び医学部で養護教諭二種免許状の取得を希望する者については、「教職履修意思確認書」の提出を②の代替条件とすることができます。

※第Ｉ期リフレクション・デイに参加し、教職課程学習ポートフォリオ（リフレクション・ログを含む）を提出していることを②の代替条件とすることができます。

【教育学部】

「スポーツと教育」の履修条件

・「スポーツ」を修得済みであること
※「教職日本国憲法」に履修条件はありません。

※「教職履修ガイダンス」は前学期中に開催予定です。詳細は教職教育チームにお問い合わせください。

（5）発展科目

①　ＳＵＩＪＩサーバント・リーダー養成に関する科目

グローバルな視野を持ちながら、地域に立脚し、未来社会の持続的発展に貢献できる国際的なサーバント・リーダーの育成を目的としています。所定科目の単位を修得し、修了要件を満たした学生には、SUIJIコンソーシアム※より、SUIJIサービスラーニング・プログラムコースの修了証が授与されます。

SUIJIコンソーシアム※

SUIJIはSix-University Initiative Japan Indonesiaの略。SUIJIコンソーシアムは、愛媛大、香川大、高知大、ガジャマダ大、ボゴール農業大、ハサヌディン大の６大学からなるコンソーシアム。

1）修了認定

SUIJIサービスラーニング・プログラムコースの修了認定を受けるためには、所定の科目を修得する必要があります。次の表にしたがって、計画的に履修してください。

なお、履修を希望する学生は、毎学期初めに開催されるガイダンスに出席することが必要です。

SUIJIサーバント・リーダー養成に関する科目	単位	１回生以上		２回生以上	
		前	後	前	後
ＳＤＧｓ－グローカル未来創成入門 ※	2	○			
ベーシック国内サービスラーニング	4	○			
ベーシック海外サービスラーニング	4		○		
アドバンスド国内サービスラーニング	4			○	
アドバンスド海外サービスラーニング	4				○
合　　計	18				

※「環境ＥＳＤ指導者養成に関する科目」で開講される科目です。

2）カリキュラム

「ＳＤＧｓ－グローカル未来創成入門」

国連ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の達成に貢献できる「地球規模の視野で考え、地域からの視点で行動できる」グローカルな視野を持ち合わせた市民となることを目指し、国内外地域の課題をＳＤＧｓに関連づけて理解し、課題解決につながる行動と持続可能な未来社会をイメージする方法について学ぶ。

「ベーシック国内サービスラーニング」

四国の農山漁村で、日本・インドネシア６大学の学生と約２週間ともに滞在し、地域が直面する課題と未来可能性を掘り下げ、サーバント・リーダーとしての基礎力を養う。

「ベーシック海外サービスラーニング」

インドネシアの農山漁村で、日本・インドネシア６大学の学生と約２週間ともに滞在し、地域が直面する課題と未来可能性を掘り下げ、サーバント・リーダーとしての基礎力を養う。

「アドバンスド国内サービスラーニング」

四国の農山漁村で、日本・インドネシア６大学の学生と約２週間ともに滞在し、地域の課題解決をめざした活動を協働で計画・実施しながら、サーバント・リーダーとしての実践力を養う。

「アドバンスド海外サービスラーニング」

インドネシアの農山漁村で、日本・インドネシア６大学の学生と約２週間ともに滞在し、地域の課題解決をめざした活動を協働で計画・実施しながら、サーバント・リーダーとしての実践力を養う。

②　環境ＥＳＤ指導者養成に関する科目

国連ＳＤＧｓ（ＳＤＧｓ：Sustainable Development Goals）の達成を目指して、持続可能な社会づくりのための教育（ＥＳＤ：Education for Sustainable Development）を担うことのできる環境ＥＳＤ指導者の育成を目的としています。

本コースでは、国連ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）と地域規模の環境・経済・社会問題について学ぶほか、フィールド調査や公開講座の企画・開催を行います。

所定の単位を修得し、修了要件を満たした学生には、環境ＥＳＤ指導者養成コースの修了認定証を授与します。

1）修了認定

環境ＥＳＤ指導者養成コースの修了認定を受けるためには、所定の科目を修得する必要があります。次の表にしたがって、計画的に履修してください。

なお、履修を希望する学生は、毎学期初めに開催されるガイダンスに出席することが必要です。

環境ＥＳＤ指導者養成コース 修了認定科目	単位	１回生以上		２回生以上	
		前	後	前	後
ＳＤＧｓ－グローカル未来創成入門	2	○			
環境ＥＳＤ指導者養成講座Ⅰ	4		○		
環境ＥＳＤ指導者養成講座Ⅱ	4			○	
合　　計	10				

2）カリキュラム

「ＳＤＧｓ－グローカル未来創成入門」

国連ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の達成に貢献できる「地球規模の視野で考え、地域からの視点で行動できる」グローカルな視野を持ち合わせた市民となることを目指し、国内外地域の課題をＳＤＧｓに関連づけて理解し、課題解決につながる行動と持続可能な未来社会をイメージする方法について学ぶ。

「環境ＥＳＤ指導者養成講座Ⅰ」

持続可能な社会づくりに主体的に参画することを目標に、現代の地域社会が抱えている自然、社会文化、経済、人権の諸問題について実体験をとおして学ぶ。瀬戸内の山～里～海と人とのつながりを意識した体験をしながら、問題の背景を科学的に分析するための手段を学ぶ。

「環境ＥＳＤ指導者養成講座Ⅱ」

環境ＥＳＤ活動の企画、実施、評価の手法について、必要な知識を学んだうえで実践を通して体得し、自ら企画した環境ＥＳＤ講座を実施する。環境ＥＳＤ活動を安全に実施するために関連法規と医療・救急救命技術を含む安全対策について学ぶ。

③　愛媛大学リーダーズ・スクール（ＥＬＳ）に関する科目

本プログラムは、学生リーダーや、将来実社会においてリーダーになり得る学生への支援・教育を通して、次のような力を養成します。

1．所属組織（授業やゼミ、サークル活動、ボランティア活動、大学行事など）の様々な問題を解決できるようになり、その経験を通して人間的に成長することができる

2．他の学生を率いて、大学や所属組織等を活性化させることができる

3．卒業後も企業や官公庁等の組織、地域のコミュニティなどにおいてリーダーシップを発揮することで、社会に貢献することができる

本プログラムでは、授業で得た知識・スキルを実際のプロジェクトにおいて実践し、その活動を振り返ることによってさらなる成長を促すという体系的で継続的なリーダー養成プログラムであることをその特徴としています。

1）資格認定

本プログラムでは、授業を含めた以下の要件を満たすことによって、本学公認の資格「愛媛大学リーダーズ・ライセンス」を取得することができます。

1．授業科目「愛媛大学リーダーズ・スクール」の履修（必修）

2．授業科目「ファシリテーションとリーダーシップ」（ＥＦＬ）の履修（必修）

3．ＥＬＳ認定科目の履修（選択必修）

4．ＥＬＳ／ＥＦＬ／西日本学生リーダーズ・スクール（ＵＮＧＬ）プロジェクト等のリーダー経験

5．その他ＥＬＳ授業内でアナウンスする学内外のセミナー・研修等の受講

2）カリキュラム

愛媛大学リーダーズ・ライセンスを取得するためには所定の科目を修得する必要があります。次の表にしたがって、計画的に履修してください。

授業科目		単位	1回生～4回生	
			前期	後期
必修	愛媛大学リーダーズ・スクール	2	集中	
	ファシリテーションとリーダーシップ	2		集中
選択必修	グローバル・リーダーシップⅠ	1	集中	
	グローバル・リーダーシップⅡ	1		集中
	その他のＥＬＳ認定科目	1～2	随時履修	

ⅰ）愛媛大学リーダーズ・スクール（ＥＬＳ）

20名定員の少人数教育を行います。グループワーク中心の授業の中で、自己理解・他者理解を深めるアクティビティを行ったり、自らのリーダーシップのスタイルの分析を試みたりします。さらに、自らが必要だと感じるリーダーとしての素養をテーマとして、他の受講生を対象としたセミナーを一人ずつ行うことによって、自分の考えを深く掘り下げる力(論理的思考力)、自分の考えを相手に分かりやすく伝える力（プレゼンテーション力)、相手を批評する力（クリティカル・シンキング）等を養っていきます。また､授業で学んだリーダーシップに関係するスキルやマインドについて１泊２日の合宿研修での実践を通してさらに深く考えていきます。

ⅱ）ファシリテーションとリーダーシップ（ＥＦＬ）

上述ＥＬＳで学ぶリーダーシップの知識を基礎に、より実践的・応用的な内容を扱います。なかでも、グループでの討議を活発にし、集団での意思決定を促進し、他者との協働を促して組織の目標達成に貢献するファシリテーション能力の養成を目的とします。ゲストスピーカーによる講義やグループワーク、ディスカッション、ディベート等を通して理論や実践経験から得られた知見について学ぶと共に、地域で活躍する社会人や企業と共にプロジェクトを立ち上げ､そこでの実践を通じて社会に求められるファシリテーション能力やリーダーシップに関する学びを深めます。

ⅲ）ＥＬＳ認定科目

ＥＬＳ認定科目とは、「グローバル・リーダーシップⅠ」、「グローバル・リーダーシップⅡ」及び､共通教育科目その他､機構が指定する科目の中から２単位履修するものです。科目の詳細については、別途、取得希望者に通知します。

④　スキルアップ科目

スキルアップ科目とは、基礎的な科目を習得した後、さらに経験を積みたい、また、高度な内容を学び知識を深めたい、継続して学びたい場合に履修できる発展的な科目です。

授業科目名	単位	開講時期	授業科目の概要
英語Ｓ１	2	夏季集中	海外での短期語学研修に参加した学生に対して、研修先より発行された修了証等を確認し、単位を認定する授業です。なお、事前・事後指導の受講が義務づけられており、それらを適切に受講していない場合は、単位認定は行われません。
英語Ｓ２	2	春季集中	
英語Ｓ３	2	前・後学期	英語のスピーキング・リスニング・ライティング・リーディングの技能間の連携を意識した学習を通して、高度な英語コミュニケーション力の習得を目指す授業です。通訳入門、ビジネス英語、アカデミックリーディング、ライティングストラテジーズ、ディスカッションなど様々なテーマの授業を開講します。主に２年次以上を対象としています。詳細については英語教育センター事務室へ問い合わせてください。

（６）留学生対象科目

外国人留学生（大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学した外国人留学生）及び外国人留学生以外の学生で外国において相当の期間、中等教育（中学校又は高等学校で受ける教育に相当する）を受けた学生（帰国子女）のうち、所属する学部で履修を許可された学生に対して、次のような授業科目を開設しています。これらの授業科目には履修上の特例が定められています。詳しくは各学部の指示に従って履修してください。

区分	授業科目	単位	原則的な履修年次（単位）			
			１年次			
			前学期		後学期	
			第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター
日本語科目	アカデミックジャパニーズ1	1	1			
	アカデミックジャパニーズ2	1		1		
	アカデミックジャパニーズ3	1			1	
	アカデミックジャパニーズ4	1				1
日本事情に関する科目	日本事情Ａ１	2	2			
	日本事情Ａ２	2			2	
	日本事情Ｂ１	2	2			
	日本事情Ｂ２	2			2	

（7）教育職員免許状を取得する場合に必要な科目

教育職員免許状の取得に必要な共通教育科目は下表のとおりです。

「教職日本国憲法」と「スポーツと教育」は教育学部以外では必修科目ではありませんので、漏れのないように単位を修得してください。

開講される年次・学期等については「教育課程表」で確認してください。

教育職員免許法施行規則に定める科目	左記に対応する共通教育科目	科目区分
日本国憲法（２単位）	教職日本国憲法（２単位）	教養科目
体育（２単位）	スポーツ（１単位）	初年次科目
	スポーツと教育（１単位）	教養科目
外国語コミュニケーション（２単位）	英語Ⅰ（１単位）	基礎科目
	英語Ⅱ（１単位）	
	英語Ⅲ（１単位）	
情報機器の操作（２単位）	情報リテラシー入門Ⅰ（１単位）	基礎科目
	情報リテラシー入門Ⅱ（１単位）	

（8）海外で実施する科目

集中講義で実施しますので、開講時期及び担当教員等については、共通教育チームへ問い合わせてください。

○発展科目　ＳＵＩＪＩサーバント・リーダー養成に関する科目の一部の授業科目
○発展科目　愛媛大学リーダーズ・スクールに関する科目の一部の授業科目
○発展科目　スキルアップ科目の一部の授業科目

Ⅷ. 受講上の注意事項

授業を受ける際に知っておかなければならないことを説明します。知らないばかりに授業を受けられなかったり、必要な連絡ができなかったり、学生生活上の必要な支援が得られなかったり、さまざまな不都合が生じることになります。受講上の基本的な注意事項については、特に確認しておきましょう。

1　授業に関する連絡

共通教育授業に関するいろいろな連絡は、次の方法で行われます。定期的に、必ず確認をしてください。

（1）修学支援システム

シラバス、休講・補講、落し物、行事予定、メッセージ、その他の大事なお知らせ情報が掲載されます。

■ＵＲＬ　https://info.ehime-u.ac.jp/syugaku/stu/

○愛大生の修学を支援する様々な機能

修学に関する諸手続きがＷＥＢ上で行えます。修学支援システムで利用できる機能は次のとおりです。

メニュー名	処理内容
履修登録	履修登録が行えます。リアルタイムで履修登録が行われるので履修確認の手間が省かれます。
履修時間割表	履修登録した時間割を閲覧できます。PDFでの出力もできます。
学修ポートフォリオ	入学から卒業までの学修について、記録することができます。PDFでの出力もできます。
各種ポートフォリオ	履修した授業や、学習活動の学習記録を作成することができます。
定期試験	履修科目の定期試験情報を閲覧できます。（学部によっては掲載していないことがあります。）
成績照会	修得科目の成績、GPAを閲覧できます。
学籍情報照会	本人の学籍情報、異動履歴、宿所情報、保証人情報、免許資格情報が閲覧できます。また、宿所情報、保証人情報は編集することもできます。申請予定の免許・資格の登録もこのメニューで行います。
健康診断結果	健康診断結果を閲覧できます。
海外渡航情報登録	海外渡航届の登録・帰国報告が行えます。
シラバス検索	シラバスを検索し、閲覧することができます。
メッセージ確認	履修している授業の休講・補講情報、講義連絡等のほか、個人あてメッセージの確認ができます。一部のメッセージに対しては返信することもできます。
落し物	落し物情報を閲覧できます。
年間行事予定	自学部の年間行事予定を閲覧できます。
アンケート回答	本人が対象となっているアンケートに回答できます。
アンケート集計結果	公開されたアンケートの集計結果が閲覧できます。
学内FAQ	学生何でも相談を閲覧できます。
証明書発行機パスワード設定	証明書発行機のパスワードを設定できます。
メール転送設定	自分あてに届く大学からのメッセージ情報などを、指定するアドレスに転送することができます。
進路・就職情報	本人の進路に関する情報を登録するほか、就職活動を記録したり、後輩のために、就活体験記を登録できます。
先輩の就活体験記	先輩が登録した就活体験記を検索し、参照することができます。
就職に関するお知らせ情報	求人情報や、インターンシップ情報等、就職に関するお知らせを参照することができます。
Moodle	Moodleへのリンクです。
Outlook（Microsoft365）	全学メールアドレスのアカウント（Outlook）へのリンクです。

（2）共通教育掲示板

共通教育の集中講義関係、その他の授業に関するお知らせ情報が掲示されますので、定期的に確認してください。

共通教育掲示板設置場所：学生サービスステーション北出入口前

（3）電子掲示板

「休講／補講情報」「拾得物のお知らせ」「お知らせ情報」が掲示されます。

設置場所　図書館　正面玄関
　　総合情報メディアセンター　正面玄関

（4）共通教育センターホームページ

共通教育に関わる内容を掲載しています。

■共通教育センターホームページ　http://web.iec.ehime-u.ac.jp/

（5）英語教育センターホームページ

英語教育に関わる内容を掲載しています。

■英語教育センターホームページ　http://web.eec.ehime-u.ac.jp/

2　授業の実施場所等

（1）教室

共通教育の授業は、主に、次の教室（建物）で行われます。(P61 ～ 65参照)

受講する授業の教室は修学支援システムで確認してください。

・愛大ミューズ ……M21PC室、M22 ～M33、
　　M演習室１～ M演習室３
・グリーンホール ……ＧＨ
・共通講義棟Ａ ……共Ａ11 ～共Ａ53、
　　多目的レクチャー室１、多目的レクチャー室２、
　　アクティブラーニングルーム
・教育学部４号館 ……Ｅ41、Ｅ42、マルチパーパスルーム
・総合情報メディアセンター ……第１～第６演習室、メディア演習室

夜間開講の授業は、主に共通講義棟Ｂの教室で開講されます。（法文学部授業時間割表に配置図があります。）

（2）教室変更

授業科目ごとに確定した受講者数にともない、授業開始前後に教室を変更することがあります。教室の変更については、修学支援システム及び共通教育掲示板で確認してください。

3　休講・補講

（1）通常の休講・補講

授業担当教員が、出張又は病気等の理由で担当する授業を休講する場合、また、休講授業の補講をする場合は、「修学支援システム」、「電子掲示板」で通知しますので、毎日掲示を見るようにしてください。

（2）気象等に関する特別警報又は台風に伴う暴風警報が発表された場合の授業の取扱いについて

松山市又は東温市のいずれかに特別警報（高潮及び波浪を除く。）又は台風に伴う暴風警報（以下「特別警報等」という。）が発表された場合の愛媛大学（附属学校園を除く。）における授業（休業期間中の集中講義を含む。以下同じ。）の取扱いは、下記のとおりとします。

① 昼間に開講する授業については、当日午前７時に特別警報等が発表されている場合又は午前７時から午前の授業開始までに特別警報等が発表された場合は、午前の授業を休講とします。また、午前11時に特別警報等が発表されている場合又は午前11時から午後の授業開始までに特別警報等が発表された場合は、午後の授業を休講とします。

② 夜間に開講する授業については、午後４時に特別警報等が発表されている場合又は午後４時から夜間の授業開始までに特別警報等が発表された場合は、全ての授業を休講とします。

③ 授業開始後に特別警報等が発表された場合は、当該授業時間帯（午前、午後又は夜間）における次の時限以降の授業を休講とします。ただし、特別警報（高潮及び波浪を除く。）が発表された場合は、直ちに授業を取りやめることとします。

4　授業の欠席

病気、怪我、忌引き等のやむを得ない理由で授業を欠席する場合は、授業担当教員へ欠席理由を申し出るようにしてください。

なお、以下の場合は正当な理由による授業欠席として認められる場合があります。（P67「愛媛大学学業成績判定に係る授業欠席の取扱いに関する申合せ」参照）

（1）学校保健安全法施行規則に定める感染症に感染した場合
（2）学生の親族が死亡した場合
（3）自然災害に遭い授業欠席がやむを得ないと認められる場合
（4）教育実習に参加した場合
（5）博物館実習に参加した場合
（6）介護等体験に参加した場合
（7）授業として行うインターンシップに参加した場合
（8）本学が大学として開催に関わる大会に参加した場合
（9）本学が要請した用務に参加した場合
（10）当該学部又は教育・学生支援機構が認めた場合

5　試験及び成績

（1）試験

試験については、担当教員の指示に従ってください。

（2）試験等における受験上の注意

① 受験に際しては、「学生証」を必ず持参し、試験時間中は机の上に置いてください。

② 「学生証」を所持していない場合は、共通教育チームで「仮学生証」の交付を受けてください。「仮学生証」は当日中に共通教育チームに返却してください。夜間開講科目の場合は、法文学部夜間主コース専用窓口で対応します。

③ 「学生証」又は「仮学生証」のどちらも所持していない者は、試験を受けることができません。

（3）不正行為

試験の際に不正行為を行った者は、「愛媛大学学業成績判定に関する規程」により、当該学期の全学業成績を判定しないという処置がとられます。また、「愛媛大学学生懲戒処分規程」により無期停学の懲戒処分を受けます。

（4）レポートの提出

①　レポートの作成

「科目番号、授業科目名、担当教員名、学科、回生、学生証番号、氏名」をレポートの表紙にわかりやすく記入してください。レポートが複数枚の場合は、ステープラー（ホッチキス）で留めて提出してください。

レポート・論文の中で他人の意見を引用する場合は、引用がわかる表示が必要です。表示をしない場合は、盗作とみなされます。

〔参考〕

レポート作成上で、守るべき事項（ガイドライン）

① 書籍・雑誌等から他者（先輩や同級生も含む。）の文章を引用する場合は、該当箇所を明確にした上で、必ず出典を明示すること。これには、インターネット上の文章から引用する場合も含まれる。

② 他者が執筆した文献や書籍・雑誌を参考にした場合は、文献名などを明示すること。但し、論旨に直接関連しない場合には、明示の必要はない。

③ 他者のデータ等を利用する場合は、該当箇所を明確にした上で、出典等を明示すること。

④ 他者との共同による学習成果を利用する際には、その旨を明記すること。

⑤ 他者のレポート等をそのまま写して提出すること、他者に依頼し作成したレポートを提出すること、あるいは複数科目において同一内容のレポートを提出することは、言うまでもなく絶対に行ってはならない行為である。また、自己の学習成果を盗用目的の他者に供与することも厳に慎むべき行為である。

②　レポートの提出期限、提出場所

a．提出方法については、担当教員の指示に従ってください。
b．指示された提出期限を超えると、受理されませんので注意してください。
c．提出場所が「学生サービスステーション」または「共通教育レポートボックス」と指示された場合は、学生サービスステーション北出入口横の「レポートボックス」に提出してください。ただし、夜間開講の共通教育科目については、法文学部夜間主コース専用窓口のドアを入ってすぐの「レポートボックス」に提出してください。

（5）追試験

次に掲げる事情で、定められた期日に受験できなかった場合、追試験を受けることができる場合があります。

①　P54　4　授業の欠席（1）～（10）の理由
②　その他共通教育センター長が必要と認めたもの

なお、追試験を受けようとする者は、当該科目の試験終了後すみやかに当該授業担当教員の承認を得て、共通教育チームへ「共通教育科目追試験願」及び「その事情を証明できる書類等」を提出してください。

（6）成績の通知

成績は、修学支援システムにより、確認できます。

（7）成績確認申立

学業成績が通知された後にその成績判定について疑義が生じた場合は、成績の通知後、原則として１週間以内に共通教育チーム（専門科目については開講学部）を通じ、共通教育センター長（専門科目については学部長）に対して、成績確認申立書（巻末に見本様式あり）に必要事項を明記し、成績の確認を申し立てることができます。申立てを行う場合は、P68の「学業成績判定に関する学生からの申立てについて」の内容に従い、具体的な理由を明確にしてください。

6　授業改善のためのアンケート

本学では、授業担当教員が学生とともに授業をより良いものへ改善することを目的として「授業アンケート」を実施しています。アンケートの結果は、授業担当教員に提供され、授業内容や授業方法の改善のための貴重なデータになります。共通教育センターでは、開講される全ての開講科目に対して、各クォーター（各学期）の授業の終了時期にアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。アンケートの集計結果は、共通教育センターホームページに掲載されます。

Ⅸ. 学びのサポート

1　教科書

（1）購入方法

毎学期の始め、愛媛大学生協で販売されます。使用する教科書はシラバスで事前に確認をしてください。

（2）活用方法

大学における教科書は、単に授業時間内だけに利用されるものではありません。１つの授業で伝えるべき内容は数多くあり、授業時間内に伝えることのできる範囲は限られています。授業で理解できないことや、疑問点を解消するために予習することが、授業を受講するのと同様に大切なことです。自習用のテキストとしても大いに活用してください。

2　ノートパソコンの活用

１年次の開講科目である「情報リテラシー入門」で各自のパソコンを利用した講義を行うとともに、様々なｅラーニング教材を活用した講義や、遠隔授業の受講のほか、レポートや論文作成、授業の履修登録や成績確認、教員からの連絡や、教員への質問など、在学中、パソコンとインターネットを活用する機会が多くあります。また、これらの活用を通じてMicrosoft Officeなど各種ソフトウェアの活用に習熟することは、今後の社会生活でも不可欠です。授業でパソコンを利用することがありますので、教員の指示があった場合には、持参できるように準備してください。

3　大学内での自主的な学習

（1）図書館を利用する

図書の貸出、閲覧をはじめ、図書館は皆さんが必要とする情報を収集できる場です。

●図書館の詳細については、ホームページで確認してください。
https://opac.lib.ehime-u.ac.jp
場　　所：図書館（P61参照）

（2）総合情報メディアセンターを利用する

総合情報メディアセンターの各演習室に備え付けのコンピュータは自主学習用としても利用することができます。なお、備え付けのコンピュータを利用するためには、アカウント（利用者ＩＤ）とパスワードが必要になります。入学時に発行されるアカウント及びパスワードを使用してください。

また、コンピュータはプリンタとも接続されていて、生協電子マネー（アイパ）を利用して、レポートの印刷や、課外活動で必要な書類の印刷ができます。

●総合情報メディアセンターの詳細については、ホームページで確認してください。
https://www.cite.ehime-u.ac.jp
場　　所：総合情報メディアセンター（P61参照）

（3）愛大ミューズ内のパソコン室を利用する

M21PC室を授業で使用していない時間に利用することができます。利用する際には、学生証で入口のロックを解除して入室してください。

利用時間：月～金　8:30 ～ 18:00
場　　所：愛大ミューズ２階（P64参照）

（4）共通講義棟Ａ又は愛大ミューズ内のラウンジを利用する

「コミュニケーションラウンジ」、「スカイラウンジ・サウス」、「スカイラウンジ・ノース」は、授業時間外学習促進のための自主学習に利用したり、授業などでグループに与えられた課題を取り組む場として、広く利用できるスペースです。利用にあたっては、注意事項を守り、お互いが気持ちよく使えるように心がけてください。

利用時間：月～金　8:30 ～ 21:00

場　　所：「コミュニケーションラウンジ」
共通講義棟Ａ１階（P62参照）
「スカイラウンジ・サウス」、「スカイラウンジ・ノース」
愛大ミューズ３階（P65参照）

4　学習支援

皆さんの学習の支援を行うために、愛媛大学では次のような制度や施設を設けています。学習を進めるにあたって、積極的に活用してください。

（1）オフィスアワーを活用する

オフィスアワーとは、授業科目に関する学生の質問・相談等に応じるための時間として、教員が研究室に在室している時間帯のことです。この時間帯であれば、学生は基本的に予約なしで研究室を訪問できます。授業担当教員のオフィスアワーはシラバスで確認することができます。また、愛媛大学のホームページにはオフィスアワーを教員の所属先ごとに一覧で掲載しています。

愛媛大学ホームページ＞大学生活＞相談窓口・ご意見箱＞オフィスアワー（教員への相談）

（2）ティーチング・アシスタント（TA）を活用する

ティーチング・アシスタントとは、授業の教育効果を高めるために、主に実験、実習、演習等の授業中に教育補助業務を行う、愛媛大学大学院生のことです。皆さんの身近な指導者として業務を行っていますので、授業の疑問点などを積極的に質問してください。

（3）スチューデント・アシスタント（SA）を活用する

スチューデント・アシスタントとは、授業の教育効果を高めるために、主にスポーツ、情報リテラシー入門の授業中に教育補助業務を行う、愛媛大学学部学生のことです。皆さんの身近な指導者として業務を行っていますので、授業の疑問点などを積極的に質問してください。

（4）スタディ・ヘルプ・デスク（SHD）を利用する

スタディ・ヘルプ・デスクとは、大学院生による学生のための学習支援スペースのことです。共通講義棟Ａ１階に設置されていて、大学院生のアドバイザーが、共通教育科目を中心に個別指導を行うほか、学習方法や大学での生活などについてもアドバイスを行っています。授業の内容が十分理解できないときや、試験準備やレポートなどの課題で困ったときは、ぜひ利用してください。

利用時間：月～金曜日　第３時限（12：40）～第５時限（17：50）
各科目や担当アドバイザーの時間帯の情報は、パンフレットまたはスタディ・ヘルプ・デスクに掲示する時間割表で確認してください。

場　　所：共通講義棟Ａ１階西側

対応科目：英語、数学、物理学、化学、生物学、その他（学習方法）

利用方法：上記利用時間内であればいつでも利用可能です。予約の必要はありません。

5　自主的な英語学習

授業以外で、英語の学習を自主的に行いたい方のために、愛大ミューズ「多文化交流ゾーン」に次のような施設・学習ソフトが用意されています。

●学生自習室　　●学生チャットルーム
利用時間：平日　9：00 － 17：00
場　　所：愛大ミューズ２階　多文化交流ゾーン

●学生自習室を利用する

学生自習室は、学生のみなさんが自由に英語を学習できる部屋です。部屋には、英字新聞、洋書、参考書、試験問題集、DVD等を整備しているほか、PCやDSiなども利用できます。

また、簡単なストーリーから無理なく読める多読シリーズの本の貸出しもしています。利用するには、学生証が必要です。詳しいことは、英語教育センター事務室までお問い合わせください。

●学生チャットルームを利用する

学生チャットルームは、ネイティブの先生との少人数制英会話クラス「Let's Enjoy English!」が開かれる部屋です。詳しい情報は、英語教育センターホームページで確認してください。

http://web.eec.ehime-u.ac.jp/

6　履修に関する質問

（1）共通教育チームを利用する

共通教育チームは、授業や試験に関する連絡を行ったり、履修の相談に応じる窓口です。そのほか、レポート提出や共通教育科目の受講に必要な事務手続きなどを行っています。

利用時間：授業開講期間中　8：30 ～ 18：00
　　休　業　中　　8：30 ～ 17：00
場　　所：学生サービスステーション（P 60参照）
※質問等は、下記のメールアドレスまでお問い合わせください。
メールアドレス：kyogakum@stu.ehime-u.ac.jp

（2）法文学部夜間主コース専用窓口を利用する

夜間開講の授業や試験に関する連絡を行ったり、履修の相談に応じる窓口です。

利用時間：平日　17：15 ～ 21：30
　　土　　10：15 ～ 18：45
場　　所：学生サービスステーション（P 60参照）

（3）英語教育センター事務室を利用する

英語教育センター事務室は、英語の授業や施設に関する相談や問い合わせに応じる窓口です。

利用時間：授業開講期間中　8：30 ～ 18：00
　　休　業　中　　8：30 ～ 17：00
場　　所：愛大ミューズ２階（P 60、64参照）

（4）ピア・ルームを利用する

学生ボランティアの「スチューデント・キャンパス・ボランティア（SCV）」が、履修方法だけでなく、学生生活、課外活動、就職、友人関係、進学など、皆さんの多種多様な疑問・不安・悩みの相談に対応しています。相談内容によっては、「SCV」が相談機関や教職員を紹介してくれ、適切な指導を受けることができます。

場　　所：愛大ミューズ２階南側（P 64参照）
メールアドレス：scv.ehime@gmail.com
ホームページ：http://scvinfo.csaa.ehime-u.ac.jp/

1. 窓口案内・掲示板案内

【教育センター事務課　共通教育チーム】
○共通教育の履修相談
○サークルの共通教育教室使用の手続き　など

【教育センター事務課　教職教育チーム】
○教育実習に関すること
○介護等体験に関すること　など

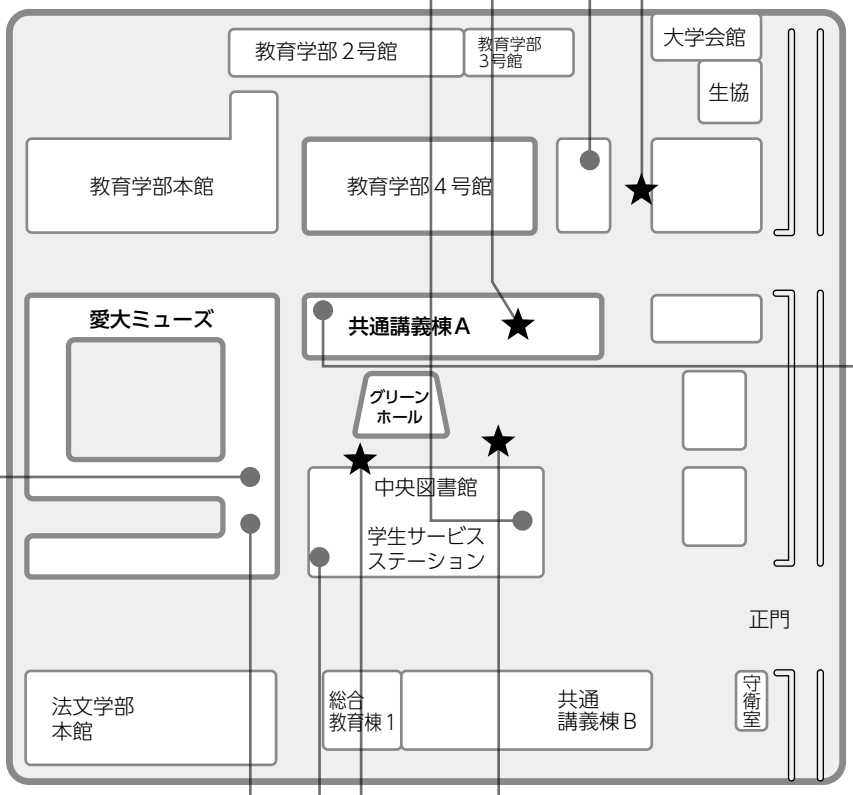
【教育支援課　法文･教育･社会共創･理･工学部チーム】
○学部専門教育の履修相談
○教員免許
○休学･退学の相談･手続き　など

【学生生活支援課掲示板】
学生団体関係　　など

【就職支援課掲示板】
就職情報　など

【就職支援課】
○就職指導
○就職情報
○インターンシップ　など

【国際連携推進機構】2F
○外国人留学生支援
○留学情報　　など



【英語教育センター事務室】2F
○英語に関する相談
○英語の履修相談　など

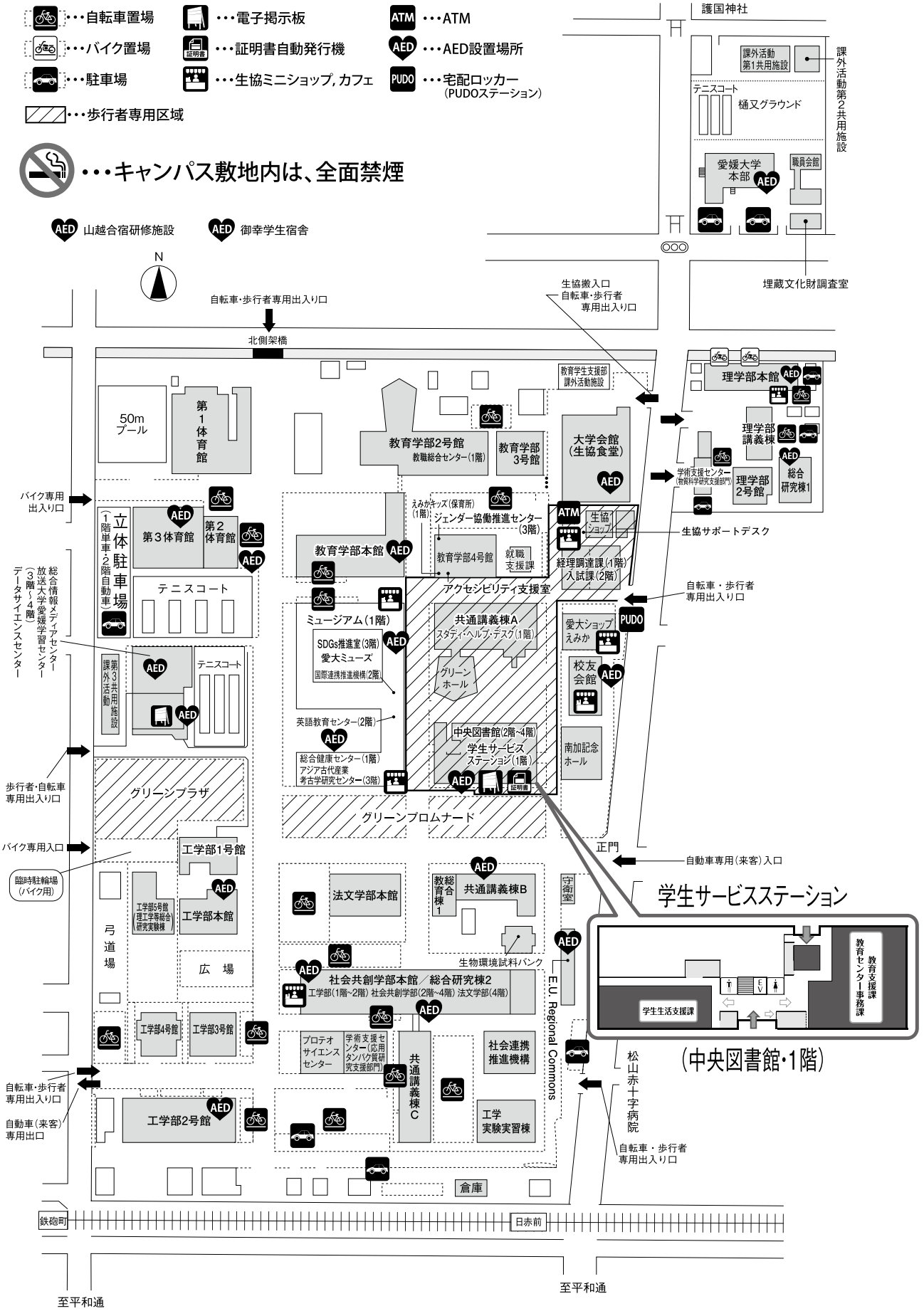
【スタディ･ヘルプ･デスク】
○大学院生による
学生のための
学習支援スペース

【教育センター事務課掲示板】
【教育支援課掲示板】
共通教育･学部専門教育の履修関係連絡事項
学生呼び出し
その他のお知らせ情報　など

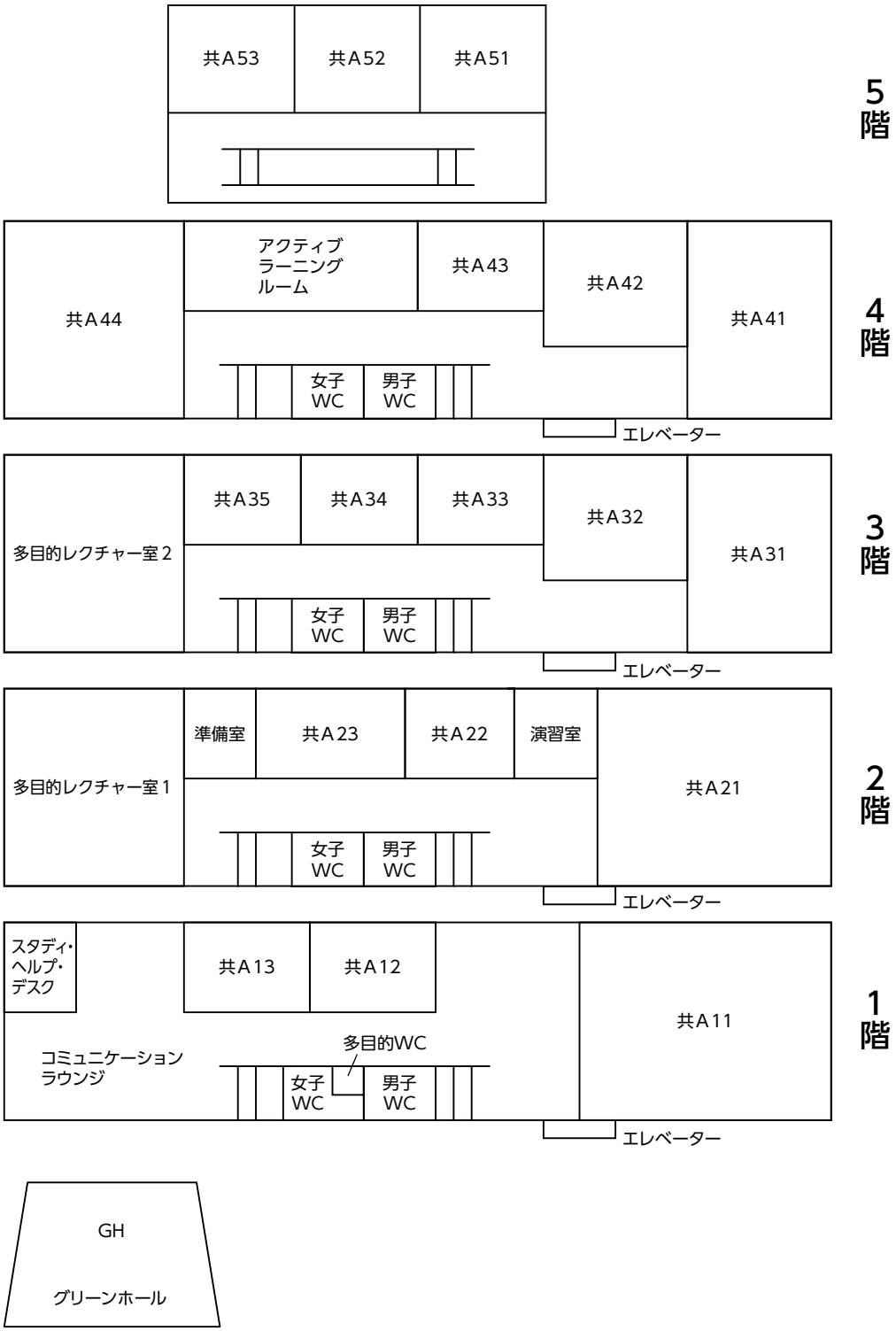
【学生生活支援課】
○何でも相談窓口
○課外活動
○入学金･授業料免除
○奨学金
○学寮（御幸学生宿舎）
○保険手続き
（学生教育研究災害障害保険等）
○証明書の発行（学割証）　　など

【学生生活支援課掲示板】
学生支援行事関係
奨学金関係　など

2. 学内案内図


・・・自転車置場
・・・バイク置場
・・・駐車場
・・・歩行者専用区域
・・・電子掲示板
・・・証明書自動発行機
・・・生協ミニショップ, カフェ
・・・ATM
・・・AED設置場所
・・・宅配ロッカー（PUDOステーション）
・・・キャンパス敷地内は、全面禁煙
山越合宿研修施設
御幸学生宿舎
護国神社
課外活動第1共用施設
テニスコート
樋又グラウンド
愛媛大学本部
職員会館
課外活動第2共用施設
埋蔵文化財調査室
N
自転車・歩行者専用出入り口
北側架橋
生協搬入口
自転車・歩行者専用出入り口
50mプール
第1体育館
教育学部2号館
教職総合センター（1階）
教育学部3号館
教育学生支援部課外活動施設
大学会館（生協食堂）
理学部本館
理学部講義棟
理学部2号館
総合研究棟1
学術支援センター（物質科学研究支援部門）
バイク専用出入り口
立体駐車場（1階単車・2階自動車）
第3体育館
第2体育館
テニスコート
総合情報メディアセンター
放送大学愛媛学習センター（3階～4階）
データサイエンスセンター
第3共用施設
課外活動
えみかキッズ（保育所）（1階）
ジェンダー協働推進センター（3階）
教育学部本館
教育学部4号館
就職支援課
ATM
生協ショップ
生協サポートデスク
経理調達課（1階）入試課（2階）
アクセシビリティ支援室
自転車・歩行者専用出入り口
ミュージアム（1階）
SDGs推進室（3階）
愛大ミューズ
国際連携推進機構（2階）
共通講義棟A
スタディ・ヘルプ・デスク（1階）
グリーンホール
愛大ショップえみか
PUDO
校友会館
英語教育センター（2階）
総合健康センター（1階）
アジア古代産業考古学研究センター（3階）
中央図書館（2階～4階）
学生サービスステーション（1階）
南加記念ホール
歩行者・自転車専用出入り口
グリーンプラザ
グリーンプロムナード
バイク専用入口
臨時駐輪場（バイク用）
工学部1号館
工学部5号館理工学等総合研究実験棟
工学部本館
弓道場
広場
法文学部本館
総合教育棟1
共通講義棟B
生物環境試料バンク
正門
自動車専用（来客）入口
守衛室
学生サービスステーション
教育センター事務課
学生生活支援課
（中央図書館・1階）
社会共創学部本館／総合研究棟2
工学部（1階～2階）社会共創学部（2階～4階）法文学部（4階）
E.U. Regional Commons
工学部4号館
工学部3号館
プロテオサイエンスセンター
学術支援センター（応用タンパク質研究支援部門）
共通講義棟C
社会連携推進機構
工学実験実習棟
松山赤十字病院
自転車・歩行者専用出入り口
自転車・歩行者専用出入り口
自動車（来客）専用出口
工学部2号館
倉庫
鉄砲町
日赤前
至平和通
至平和通

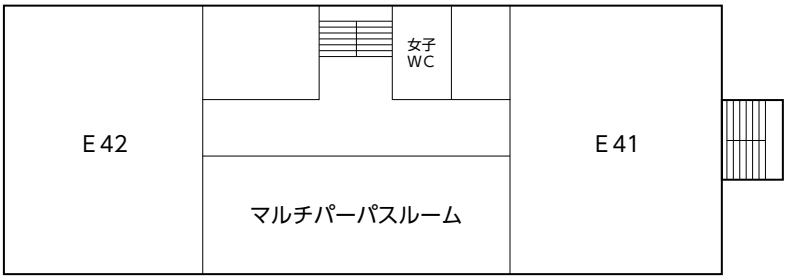
3. 教室等配置図（共通講義棟A・グリーンホール）



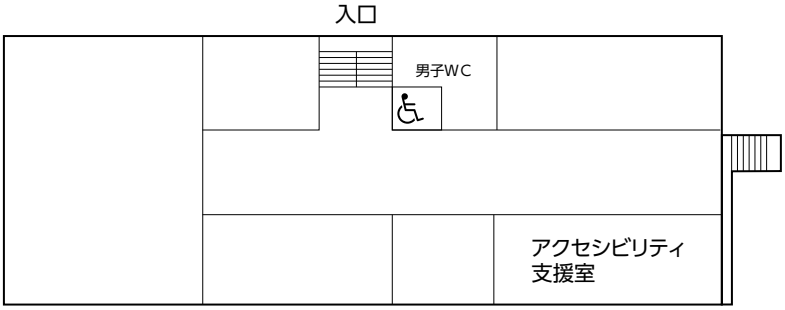
3. 教室等配置図（教育学部４号館・愛大ミューズ１階）

教育学部４号館

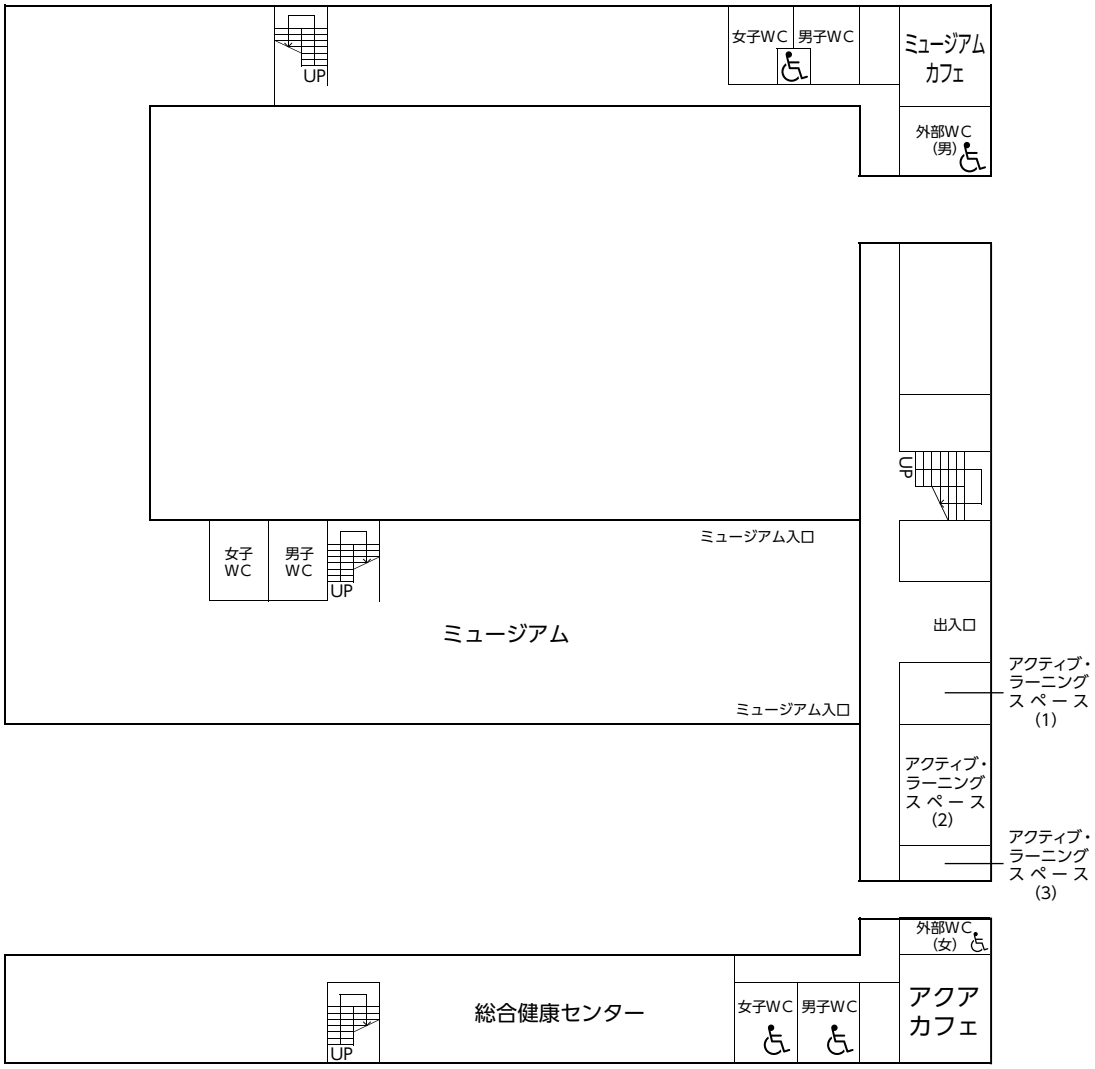
4階



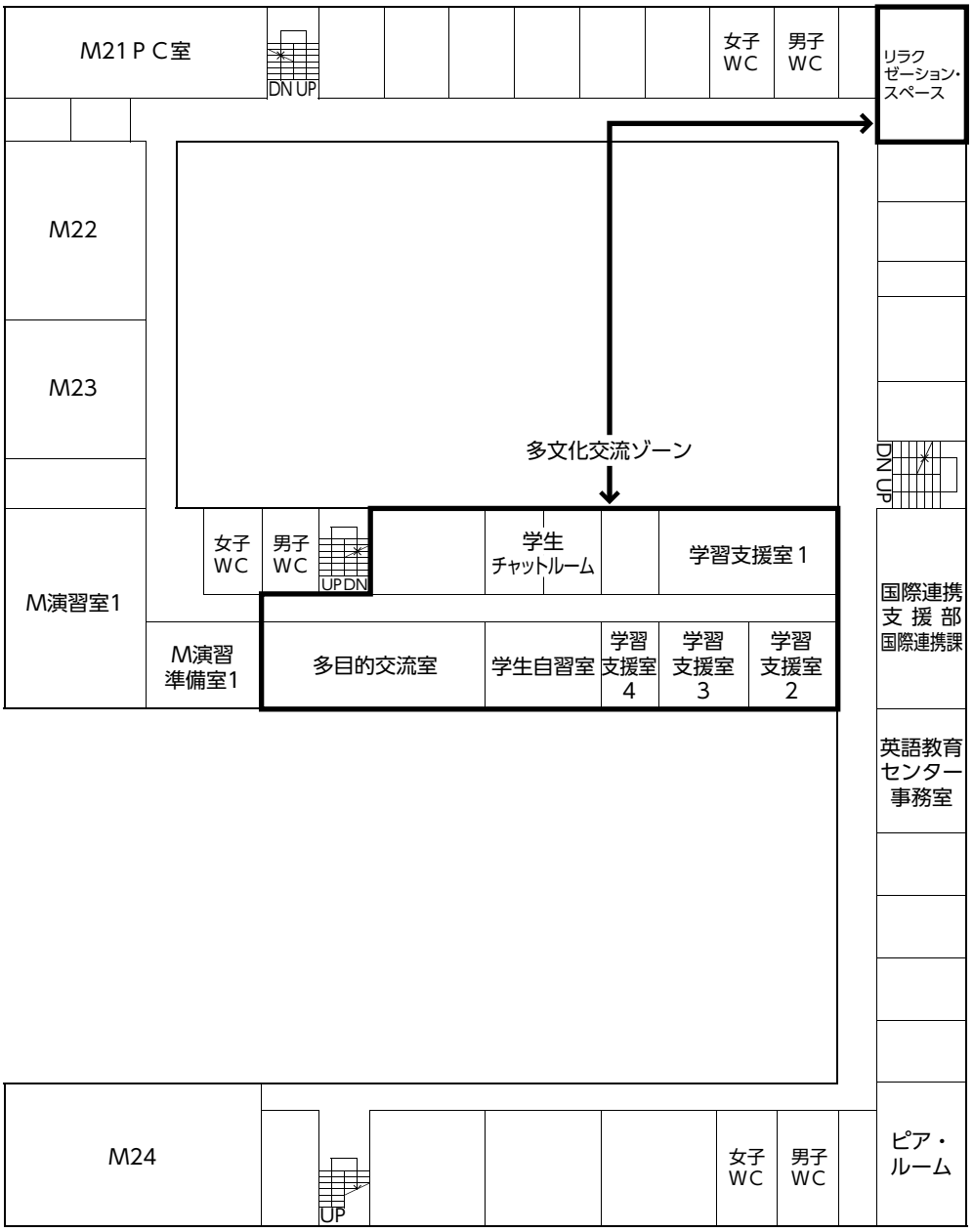
1階



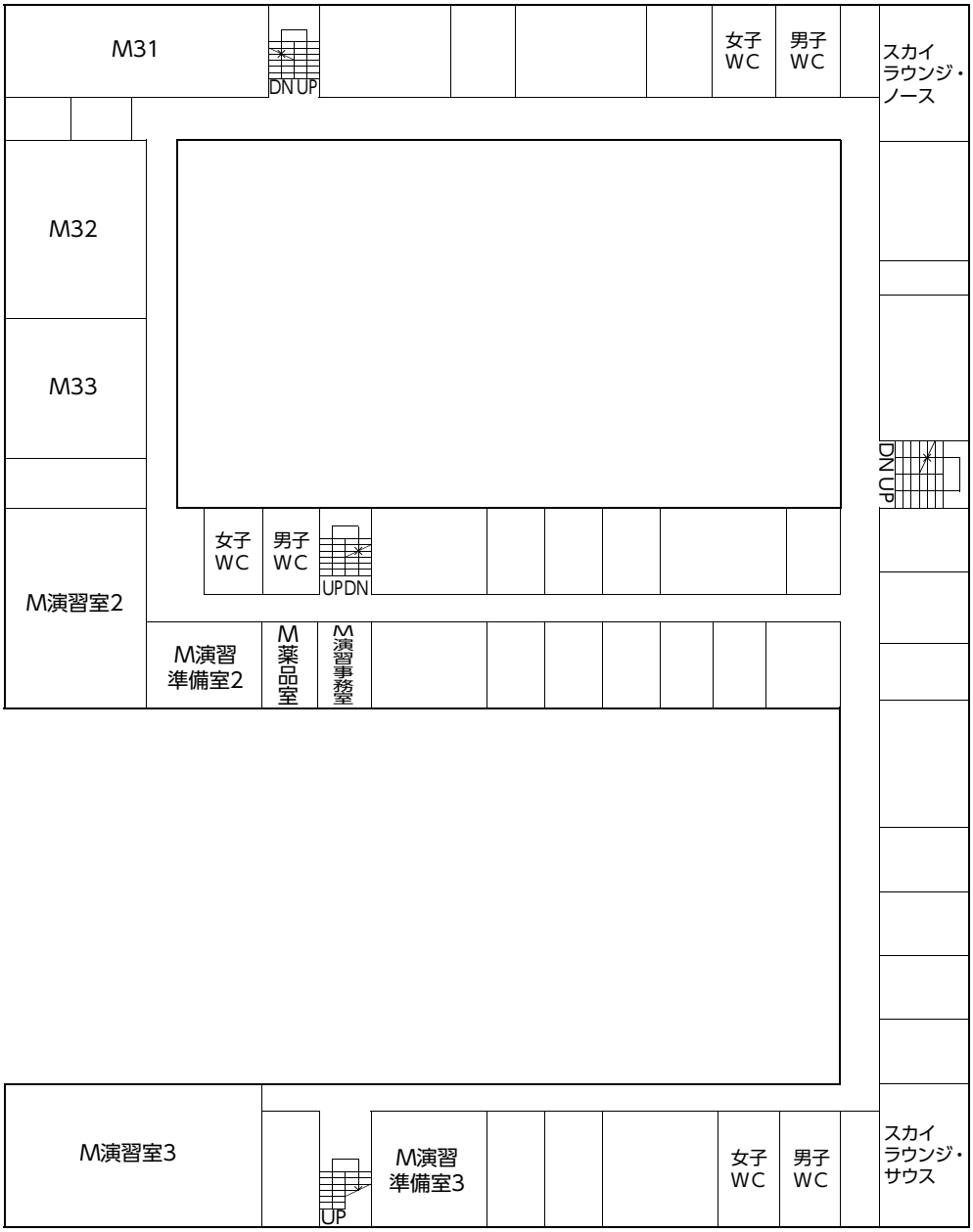
愛大ミューズ１階



3. 教室等配置図（愛大ミューズ２階）



3. 教室等配置図（愛大ミューズ３階）



愛媛大学共通教育科目規程

（平成18年7月12日
規　則　　第167号）

（趣旨）
第１条　愛媛大学学則（以下「学則」という。）第11条に定める愛媛大学（以下「本学」という。）の共通教育科目に関し必要な事項は、学則等に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

（共通教育科目の実施）
第２条　本学の共通教育科目は、全学協力体制のもとに実施する。
２　共通教育科目に係る教育の企画、運営及び実施については、共通教育センターがこれに当たる。

（授業科目区分）
第３条　共通教育科目の区分は、次のとおりとする。
（１）初年次科目
（２）基礎科目
（３）未来思考支援科目
（４）教養科目
（５）発展科目
（６）留学生対象科目

（授業科目及び単位数）
第４条　共通教育科目の授業科目及び単位数は、別に定める。

（授業科目の登録）
第５条　本学の教授、准教授及び講師（愛媛大学特任講師に関する取扱要項に基づき特任講師の名称を付与された助教を含む。）は、所定の手続により、担当可能な共通教育科目の授業科目の登録を行わなければならない。

（授業の担当）
第６条　前条の教員は、共通教育科目の授業を担当する。
２　共通教育科目の授業は、共通教育センター長が必要と認めたときは、所属する部局等の長の同意を得て、本学の助教も担当又は分担できるものとする。

（その他）
第７条　この規程に定めるもののほか、共通教育科目に関し必要な事項は、愛媛大学教育・学生支援機構長が定める。

附　則
この規程は、平成18年７月12日から施行し、平成18年４月１日から適用する。

附　則
この規程は、平成19年４月１日から施行する。

附　則
この規程は、平成20年４月１日から施行する。

附　則
この規程は、平成21年４月１日から施行する。

附　則
この規程は、平成22年４月１日から施行する。

附　則
この規程は、平成25年４月１日から施行する。

附　則
この規程は、令和５年４月１日から施行する。

共通教育科目の履修等に関する申合せ

（平成18年10月27日
共通教育センター会議決定）

（履修科目の手続）
第１　学生は、履修しようとする授業科目を、所定の手続きにより登録しなければならない。

（重複履修の取扱い）
第２　授業科目の重複履修については、別に定める。

（学業成績判定）
第３　学業成績の判定は、愛媛大学学業成績判定に関する規程に定めるところによる。

（追試験の実施）
第４　次に掲げる理由により試験を受験できなかった者から願い出があった場合には、追試験を実施することができる。
（１）愛媛大学学業成績判定に係る授業欠席の取扱いに関する申合せ第２に定める理由
（２）その他共通教育センター長が必要と認めたもの

（試験に際し不正行為があった場合の取り扱い）
第５　試験に際し不正行為があった場合は、当該学生が所属する学部が共通教育チームの協力を得て対応するものとする。

（入学前の既修得単位等の認定）
第６　学則第17条の規定により学生が本学に入学する前に他の大学若しくは短期大学（外国の大学又は外国の短期大学を含む。）又は大学以外の教育施設等において履修した授業科目に係る共通教育科目に相当する単位等の認定については、当該学生の所属する学部の教授会が行う。

（他の大学等における授業科目の履修等）
第７　学則第24条又は第25条により他の大学若しくは短期大学（外国の大学又は外国の短期大学を含む。）又は大学以外の教育施設等において履修した授業科目に係る共通教育科目に相当する単位等の認定については、当該学生の所属する学部の教授会が行う。

（聴講生及び科目等履修生の取扱い）
第８　聴講生及び科目等履修生の入学及び在学期間の更新の願い出は、共通教育センター会議で審議する。

（新入生セミナーの取扱い）
第９　新入生セミナーの履修に関する事項については、それぞれの学部が直接取り扱うものとする。

（集中講義の実施期間）
第10　集中講義は、原則として授業期間以外の期間（長期休業中等）に実施するものとする。

附　則
この申合せは、平成18年10月27日から施行する。
附　則
この申合せは、平成25年４月１日から施行する。
附　則
この申合せは、平成28年９月12日から施行する。
附　則
この申合せは、令和５年４月１日から施行する。

愛媛大学学業成績判定に関する規程

（平成16年4月1日
規則　第153号）

（趣旨）
第1条　この規程は、愛媛大学学則（以下「学則」という。）第20条及び愛媛大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第23条に定める学業成績の判定に関して、必要な事項を定める。
（学業成績の判定）
第2条　学業成績は、試験及び平素の成績を総合して判定する。
2　学業成績の判定に際しては、あらかじめシラバス等で評価基準を学生に周知し、明示した基準に基づき厳正に判定する。
3　各学部、各研究科規則又は各学環規則の定める履修科目の届出がない者は、判定の対象としない。
（試験）
第3条　試験は、筆記、レポート、口述、実演・実技試験等により実施する。
2　試験方法及び日時は、その授業科目の担当教員の定めるところによる。
（平素の成績）
第4条　平素の成績は、研究報告、随時行う小考査、学習状況等によって判定する。
（出席時間数の取扱い）
第5条　各授業科目につき、その開講時数の3分の2以上出席していない者については、その授業科目の学業成績は、判定しない。ただし、別に定める申合せ等で正当な理由による授業欠席として認めた場合は、この限りでない。
（評点）
第6条　学業成績評点は、各授業科目につき100点をもって満点とする。
（単位修得の評点）
第7条　60点以上の学業成績評点を得た授業科目については、所定の単位を修得したものとする。
（学業成績判定の評語）
第8条　学業成績判定の評語は、原則として秀、優、良、可及び不可とし、その区分は、次のとおりとする。

評語	評点の範囲	基　準
秀	90点以上 100点まで	授業科目の到達目標を極めて高い水準で達成している。
優	80点以上 90点未満	授業科目の到達目標を高い水準で達成している。
良	70点以上 80点未満	授業科目の到達目標を標準的な水準で達成している。
可	60点以上 70点未満	授業科目の到達目標を最低限の水準で達成している。
不可	60点未満	授業科目の到達目標を達成していない。

（不正行為の取扱い）
第9条　試験に際し不正行為を行った者については、当該学期の全学業成績は、判定しない。
2　前項の不正行為を行った者は、愛媛大学学生懲戒処分規程第3条第5号及び第5条の規定に基づき、処分する。
（授業料未納により除籍された者の単位の取扱い）
第10条　学則第45条第3号及び大学院学則第44条第3号の規定により除籍された者については、授業料未納期間に係る単位は認定しない。

附　則
この規程は、平成16年4月1日から施行する。
附　則
1　この規程は、平成18年4月1日から施行する。
2　平成17年度以前に入学した者に係る学業成績判定の評語については、改正後の第8条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
附　則
この規程は、平成19年4月1日から施行する。
附　則
この規程は、平成20年4月1日から施行する。
附　則
この規程は、平成21年4月1日から施行する。
附　則
この規程は、平成28年4月1日から施行する。
附　則
この規程は、平成28年7月6日から施行する。
附　則
この規程は、平成30年4月25日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
附　則
この規程は、令和3年4月1日から施行する。
附　則
この規程は、令和5年4月1日から施行する。

愛媛大学学業成績判定に係る授業欠席の取扱いに関する申合せ

（平成20年11月5日
教育･学生支援機構
教育学生支援会議決定）

（趣旨）
第1　この申合せは、愛媛大学学業成績判定に関する規程（以下「規程」という。）第5条ただし書きに係る正当な理由による授業欠席の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。
（授業欠席の取扱い）
第2　学生が次の各号に掲げる理由により授業を欠席した場合は、これを出席には取り扱わないが、正当な理由による授業欠席として認めることができる。
（1）学校保健安全法施行規則に定める感染症に感染した場合
（2）学生の親族（別表に掲げる親族に限る。）が死亡した場合
（3）自然災害に遭い授業欠席がやむを得ないと認められる場合
（4）教育実習（応用実習及び実習校との打合せを含む。）に参加した場合
（5）博物館実習（実習施設との打合せを含む。）に参加した場合
（6）介護等体験（受入先との打合せを含む。）に参加した場合
（7）授業として行うインターンシップ（受入先との打合せを含む。）に参加した場合
（8）本学が大学として開催に関わる大会（中・四国国立大学連合演奏会、中・四国国立大学連合美術展覧会、四国地区大学総合体育大会等）に参加した場合
（9）本学が要請した用務に参加した場合
（10）当該学部又は教育・学生支援機構が認めた場合
2　前項の取扱いによる授業欠席は、第1号から第3号までの場合を除き、各授業科目につき、開講時数に対応する授業の回数が15回の場合は2回を限度とし、15回以外の場合は開講時数に15分の2を乗じて得られた時間数に対応する授業の回数を限度とする。
（授業欠席時間数の取扱い）
第3　各授業科目の開講時数に対する出席時間数の割合の算定に当たっては、第2の取扱いによる授業欠席時間数は、開講時数に含めない。
（授業欠席の手続き）
第4　この取扱いを希望する学生は、別紙様式の正当な理由による授業欠席申出書により授業担当教員へ申し出るものとする。
2　前項の授業欠席申出書を受領した授業担当教員は、当該学生に対し、適切な学習支援を行うものとする。

附　則
1　この申合せは、平成21年4月1日から施行する。
2　愛媛大学学業成績判定に関する規程第5条ただし書きに係る正当な理由による授業欠席の取扱いに関する申合せ（平成18年2月22日教育･学生支援機構管理運営委員会決定）は、廃止する。
附　則
この申合せは、平成21年10月28日から施行し、平成21年4月1日から適用する。
附　則
この申合せは、平成23年4月1日から施行する。
附　則
この申合せは、平成23年7月6日から施行する。
附　則
この申合せは、平成28年7月6日から施行する。
附　則
この申合せは、令和5年4月1日から施行する。

別表（第2の第1項第2号関係　忌引き日数表）

親族	日　数	摘要
配偶者	7日	
父母	7日	
子	5日	
祖父母	3日（学生が代襲相続し、かつ祭具等の継承を受ける場合にあっては7日）	
孫	1日	
兄弟姉妹	3日	

（備考）
1　日数は最長とし、かつ連続する日とする。
2　葬儀のため遠隔の地に赴く場合にあっては、往復に要する日数を加えることができる。

愛媛大学学生懲戒処分規程（抜粋）

（平成21年１月14日
規則　　第５号）

（趣旨）
第１条　この規程は、愛媛大学学則（以下「学則」という。）第51条及び愛媛大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第56条に規定する懲戒に関し、必要な事項を定める。

（懲戒の対象）
第３条　懲戒の対象となり得る行為は、次の各号に掲げるものとする。
（１）刑罰法規に抵触する行為
（２）人権を侵害する行為
（３）交通法規に違反する行為
（４）情報倫理に反する行為
（５）試験等における不正行為
（６）論文等の作成における学問的倫理に反する行為
（７）本学の規則に違反する行為
（８）本学の教育研究等の業務を妨害する行為
（９）その他、学生の本分に反すると認められる行為

（懲戒処分の種類及び内容）
第４条　懲戒処分の種類及び内容は、次のとおりとする。
（１）退学　学生としての身分を喪失させること。
（２）停学　有期停学又は無期停学とし、登学を禁じること。
（３）戒告又は訓告　文書による注意を与え、自省を促し今後を戒めること。

（懲戒処分の量定）
第５条　懲戒処分の量定は、別表に定める懲戒処分の標準例に準拠する。ただし、過去に類似の行為を行ったことを理由として処分を受けたことがある場合、または処分の対象となり得る複数の行為を行っていた場合等においては、この限りではない。

別表（第５条関係）

懲戒処分の標準例

懲戒の対象となる行為	事　　例	懲戒処分の基準
(1) 刑罰法規に抵触する行為	殺人、強盗、強姦、放火等の凶悪犯罪	退学
	傷害、窃盗、住居・建造物侵入、わいせつ行為、薬物（覚醒剤等）の所持等	退学以下
(2) 人権を侵害する行為	セクシュアル・ハラスメント等	退学以下
(3) 交通法規に違反する行為	飲酒運転、無免許運転、大幅な制限速度違反等に起因する重大な人身事故及び物損事故	退学
	飲酒運転、無免許運転、大幅な制限速度違反等	退学以下
	交通違反に起因する人身事故及び物損事故、無車検運行等	停学以下
(4) 情報倫理に反する行為	コンピュータ、ネットワークへの不正アクセス、ネットワーク運用妨害、伝染性ソフトウェアの持込、情報漏洩等	退学以下
(5) 試験等における不正行為	代理（替え玉）受験、集団不正行為等悪質性の高い不正行為	退学以下
	カンニング	停学（無期停学）
(6) 論文等の作成における学問的倫理に反する行為	論文盗用、著作権の侵害等	退学以下
(7) 本学の規則に違反する行為	学則、大学院学則、学生準則等に違反する行為	退学以下
(8) 本学の教育研究等の業務を妨害する行為	授業妨害、研究妨害等	退学以下
(9) その他、学生の本分に反する行為	上記以外の行為	退学以下

学業成績判定に関する学生からの申立てについて（ガイドライン）

（平成18年２月22日
教育・学生支援機構
管理運営委員会決定）

（改正：平成26年２月４日）
（改正：令和３年12月21日）

このガイドラインは、学業成績判定に関する取扱要項第８に規定する学生からの申立てに係る統一的な取り扱いを示す。

1　学生は、学業成績が通知された後にその成績判定について疑義が生じた場合は、事務担当課を通じて、授業科目を開講する学部長等に対して、成績確認申立書（別紙様式）（以下「申立書」という。）に必要事項を明記し、申立てることができる。

2　学生からの申立てを受け付ける期間は、学業成績を通知した後、原則として１週間とする。

3　学部長等は、統括教育コーディネーター等に調査を命ずる。

4　統括教育コーディネーター等は、所掌する委員会等において、当該学生及び授業担当教員から意見を聴取するなど調査を行い、その結果を、学部長等に報告する。

5　学部長等は、調査結果に基づき、当該授業担当教員に対して、履修成績に対する異議申立てへの回答内容を通知する。

6　学部長等は、委員会等における調査結果を踏まえ、事務担当課を通じて、当該学生に対して、授業科目の成績判定に対する異議申立てへの回答を行う。

7　申立書は、事務担当課において回答日以降５年間保存した後、廃棄する。

8　このガイドラインに定めるもののほか、各学部等において必要な事項については、それぞれ別に定めることができる。

9　このガイドラインは、大学院の授業科目にも準用する。

10　このガイドラインは、令和３年度後学期開講の授業科目から適用する。

学業成績判定に関する申立てについて

○　学業成績が通知された後にその成績判定について疑義が生じ確認する必要がある場合は、成績確認申立書により、申立てることができます。

○　申立てを行う場合は、何故成績評価に納得できないのか、その具体的な理由を明確に記入してください。
　具体的とは、「この問題に関して、このように解答したが・・」とか、「このテーマに関して、このような判断で記述したが・・」というように、明確な書き方をしてください。

○　成績確認申立書の提出先は次のとおりです。
　なお、帰省等の理由により、事務担当課等に直接申立書を提出することができない場合は、修学支援システムトップページ（http://info.ehime-u.ac.jp/syugaku/stu/）より申立書をダウンロードし、以下のメールアドレス宛に添付ファイルにより提出することができます。
（注）メールのタイトル（件名）は「成績確認申立書の送付」とし、受理メールの返信を確認してください。なお、メール送信後、土・日・祝日を除き２日を経過しても受理メールの返信がない場合は、電話による確認をしてください。

区　分	学部等名	事務担当課名（電話、メールアドレス）
共通教育科目	全学部	教育学生支援部教育センター事務課共通教育チーム（089-927-8910、kyogakum@stu.ehime-u.ac.jp）
学部科目 大学院科目	法文学部 （昼・夜間主ｺｰｽ） 人文社会科学研究科法文学専攻	教育学生支援部教育支援課各学部チーム 法文学部チーム （089-927-9221、llgakumu@stu.ehime-u.ac.jp）
	教育学部 教育学研究科	教育学部チーム （089-927-9377、edgakumu@stu.ehime-u.ac.jp）
	社会共創学部 人文社会科学研究科産業システム創成専攻	社会共創学部チーム （089-927-9019、crigakum@stu.ehime-u.ac.jp）
	理学部 ｽｰﾊﾟｰｻｲｴﾝｽ特別ｺｰｽ	理学部チーム （089-927-9546、scigakum@stu.ehime-u.ac.jp）
	工学部	工学部チーム （089-927-9690、kougakum@stu.ehime-u.ac.jp）
	理工学研究科	理工学研究科チーム （089-927-8926、rikougakum@stu.ehime-u.ac.jp）
	医学部 医学系研究科 医農融合公衆衛生学環	医学部学務課教務チーム （089-960-5175、mkyoumu@stu.ehime-u.ac.jp） 医学部学務課大学院チーム （089-960-5868、mgradu@stu.ehime-u.ac.jp）
	農学部 農学研究科 医農融合公衆衛生学環	農学部事務課学務チーム （089-946-9806、agrgakum@stu.ehime-u.ac.jp）
	連合農学研究科	農学部事務課連合農学研究科チーム （089-946-9910、rendai@stu.ehime-u.ac.jp）

見　本（成績確認申立書（別紙様式））

別紙様式

成 績 確 認 申 立 書

年　　月　　日

学部　　学科・課程 コース 研究科　　専攻 学環		学籍番号	ふりがな 氏　名
連絡先	電話番号：　　携帯電話： ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：		
年度　　学期	区分	開講学部等：共通教育、学部、大学院、学環　（該当を丸で囲む）	授業担当教員
科目番号	授業科目名		
成績確認申立の内容（理由を明確に記入すること。）			

（以下は記入する必要ありません。）

受　付	月　　日	事務担当課名	受付者氏名

授業担当教員記入欄

措置日：　　月　　日

◇ 成績評価の変更（該当に☑を付してください。）
　☐ 有　　☐ 無

◇ 授業担当教員所見

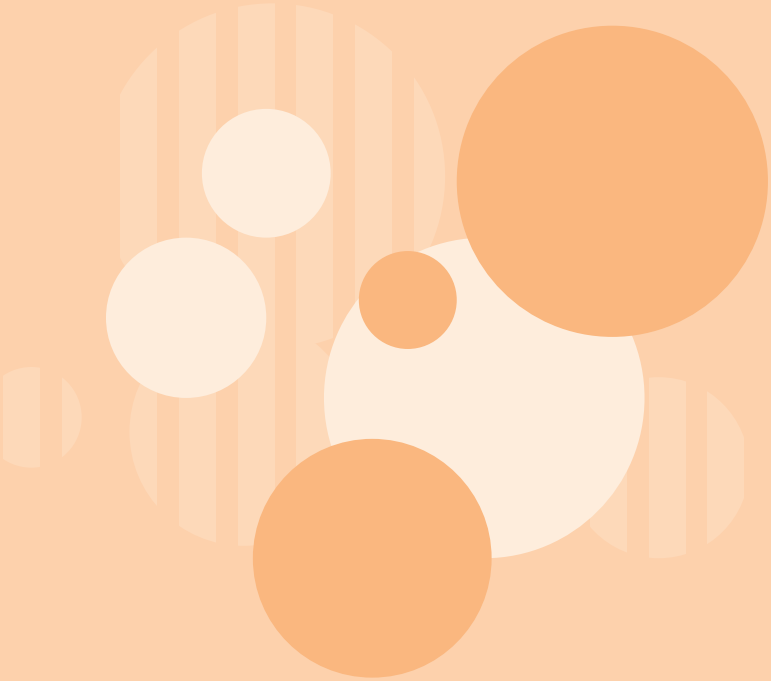
授業担当教員氏名＿＿＿＿＿＿＿＿

※皆さんから取得した個人情報は、学業成績判定に関する申立てについての連絡に利用します。
　なお、取得した個人情報は、前記の目的以外に利用することはありません。

回答日	月　　日	学部長等氏名	調査教員氏名

MEMO

MEMO



2023（令和５）年度　共通教育履修案内

愛媛大学共通教育センター
（教育学生支援部教育センター事務課共通教育チーム）
〒790-8577　松山市文京町３番

学生証番号